ONKYO®

X-N9EX
FR-N9EX（CD/MD チューナーアンプ）
D-N9EX（スピーカーシステム）

X-N7EX
FR-N7EX（CD/MD チューナーアンプ）
D-N7EX（スピーカーシステム）

FR-N9EX
（CD/MD チューナーアンプ）

FR-N7EX
（CD/MD チューナーアンプ）

取扱説明書

MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

基本編

はじめに

接続

再生

ラジオを聞く

録音

目次

応　用　編

接続

調整

MD グループ機能

編集と消去

時計とタイマー

その他

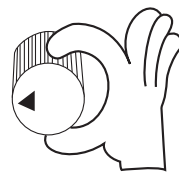
主な特長

■ 音楽CD、MP3/WMAディスクの再生が可能
■ USBメモリーのMP3/WMAファイルの再生が可能
■ MDLP対応で、多彩な録音モード SP、LP2、LP4、Mono
■ CD→MD、CD→USB、MD→USB、USB→MDダビング機能（CD→MDは4倍速録音可能）
■ 音楽CD→MD/USB同時録音機能
■ 多くの曲を整理するMDグループ機能
■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link (Digital Rec Level Adjustment) 機能
■ MDへのデジタル録音時のレベル調整ができるデジタル録音ボリューム搭載
■ 30局メモリー可能なFM/AMチューナー搭載（FMはオートプリセット可能）
■ メディアの実力を引き出す超ワイドレンジアンプテクノロジー WRAT (Wide Range Amplifier Technology)
■ 重低音の調整ができるS.BASS機能、低音や高音を調整できるBASS/TREBLE機能
■ 充実した外部音声入出力端子〔VIDEO入力、TAPE入出力、LINE入力（前面ミニジャック）〕
■ 光デジタル端子装備〔入力×1、出力×1（FR-N9EXのみ）〕
■ 別売のドックを接続すれば、本機付属のリモコンでiPodの操作が可能

USBメモリーについてのご注意

1. USBメモリーのフォーマットはFAT16またはFAT32の32k以下のクラスタサイズに対応しています。
   NTFSなど対応していないフォーマットのときは、パソコンで対応するフォーマットにフォーマットし直してください。
2. セキュリティ機能付きのUSBメモリーは使用できません。
   セキュリティ機能をはずし、通常のUSBメモリーとして動作可能な場合は使用することができます。
3. USBメモリーは製品により仕様が異なりますので、すべてのUSBメモリーでの動作を完全に保証することはできません。
   特に、小ブロック単位の書込速度が遅いUSBメモリーは録音に失敗することがあります。その場合はUSBメモリーを取り替えてください。
4. USBハブは使用できません。
   USBメモリーは直接本機のUSB端子に接続してください。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

● iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
● 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

箱の中身を確かめる

お買い上げいただいた製品によって、箱に入っているものの組み合わせが異なります。品番をお確かめの上、下記の製品および付属品が入っているかご確認ください。

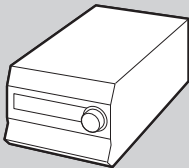
X-N9EXには、次のものが含まれます。
- FR-N9EX（CD/MDチューナーアンプ）● D-N9EX（スピーカーシステム）

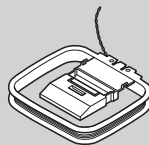
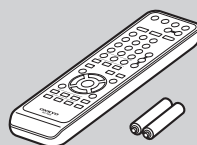
X-N7EXには、次のものが含まれます。
- FR-N7EX（CD/MDチューナーアンプ）● D-N7EX（スピーカーシステム）

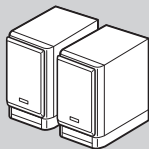
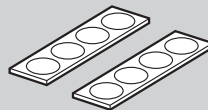
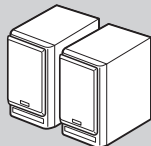
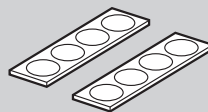
FR-N9EX、FR-N7EXはCD/MDチューナーアンプの単品です。
- スピーカーシステムは、含まれません。

（　）内の数字は数量を表しています。お確かめください。

FR-N9EX、FR-N7EX（CD/MDチューナーアンプ）

●製品本体（1）

● FM 室内アンテナ（1）
FM 放送を受信するアンテナです。

● AM 室内アンテナ（1）
AM 放送を受信するアンテナです。

●リモコン（RC-790S）（1）
●単4乾電池（2）

●取扱説明書（本書）(1）●簡単操作ガイド（1）●保証書（1）●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

D-N9EX（スピーカーシステム）

●製品本体（2）　●スピーカーコード 1.8 m（2）　●スピーカー用コルクスペーサー（8）

D-N7EX（スピーカーシステム）

●製品本体（2）　●スピーカーコード 1.8 m（2）　●スピーカー用コルクスペーサー（8）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CD/MDチューナーアンプには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの天面や底面に通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となります。

- CD/MDチューナーアンプを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （CD/MDチューナーアンプの天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■CD/MDチューナーアンプ内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CD/MDチューナーアンプの通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない
- CD/MDチューナーアンプの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口に手を入れない

指のけが
に注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■製品の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD/MDチューナーアンプの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■機器内部の点検について

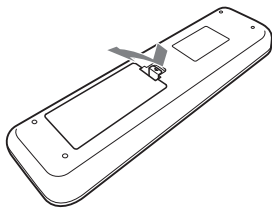
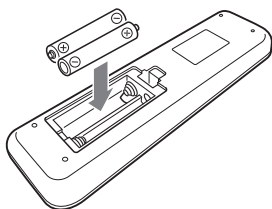
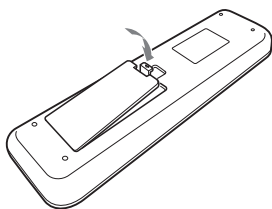
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■製品のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

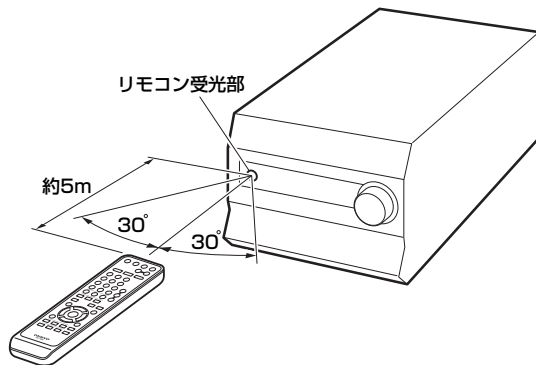
リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

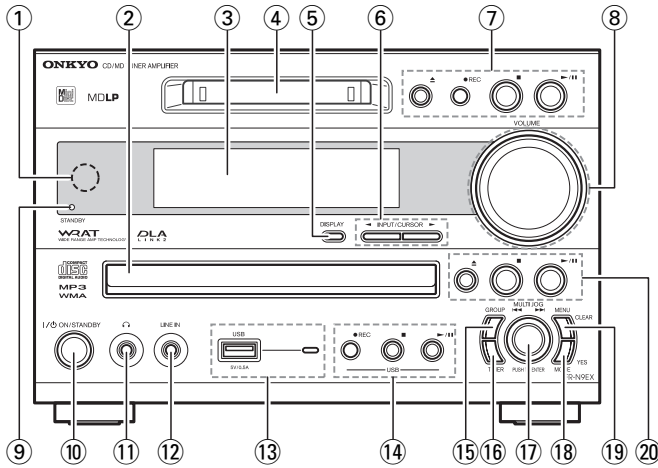
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単4形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンはCD/MDチューナーアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。

各部の名前と主な働き

前面パネル 〔 〕内のページに主な説明があります。

イラストはFR-N9EXですが、FR-N7EXも各部のボタンの働きは同じです。

① **リモコン受光部**〔9〕
リモコンからの信号を受信します。

② **ディスクトレイ**〔26〕
音楽CD、MP3、WMAディスクをセットします。

③ **表示部**
次ページをご覧ください。

④ **MD挿入部**〔29〕
MDを挿入します。

⑤ **DISPLAYボタン**〔27、30、32、45、48、61、71〕
表示部の情報を切り換えます。文字入力時、文字の種類を選べます。2秒以上ボタンを押し続けると、表示の明るさを切り換えることができます。

⑥ **INPUT/CURSOR◀/▶ボタン**
〔25、41、51、56、66、81〕
聞くソースを選びます。
文字入力時、文字の挿入、訂正、消去に使います。

⑦ **MD操作部**〔29、33、48〕
- **≜ボタン**：MDを取り出します。
- **●RECボタン**：MDを録音または録音待機状態にします。
- **■ボタン**：MDの再生や録音を停止します。
- **▶/❙❙ボタン**：MDの再生や録音（録音待機状態から）を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

⑧ **VOLUMEつまみとインジケーター**〔25〕
音量を調節します。電源が入るとつまみの周りのインジケーターが点灯し、ミューティングが働くと点滅します。

⑨ **STANDBYインジケーター**〔24〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

⑩ **ON/STANDBYボタン**〔25、83〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

⑪ **🎧端子**〔25〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑫ **LINE IN端子**〔24〕
メモリープレーヤーなどのポータブル機器を接続します。

⑬ **USB端子とインジケーター**
USBメモリーを接続します。
インジケーターはUSBメモリーの録音・再生時の状態により以下のように点灯・点滅します。
再生時：緑色で点灯　**再生一時停止時**：緑色で点滅
録音時：赤色で点灯　**録音一時停止時**：赤色で点滅

⑭ **USB操作部**〔31、38、54〕
- **●RECボタン**：USB端子に接続したUSBメモリーを録音または録音待機状態にします。
- **■ボタン**：USB端子に接続したUSBメモリーの再生や録音を停止します。
停止中に押すと、USBメモリーを取り外せます。
- **▶/❙❙ボタン**：USB端子に接続したUSBメモリーの再生や録音（録音待機状態から）を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

⑮ **GROUPボタン**〔27、55、57、62、63〕
グループを選択するときに押します。

⑯ **TIMERボタン**〔78、80、81、84〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

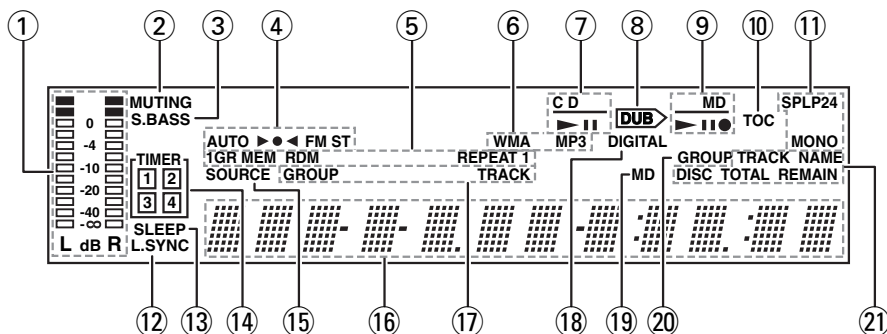
⑰ **MULTI JOGダイヤル**〔26、29、41〕
登録した放送局の選択やバンドの切り換え、音楽CD、MP3、WMAディスク、MDまたはUSBメモリーの曲を選びます。編集時、項目を選択します。押すと各設定を決定します。

⑱ **MODE/YESボタン**〔33、38、43、63、75〕
録音、再生、設定などで選択した項目を決定します。
メモリー再生やランダム再生を設定します。

⑲ **MENU/CLEARボタン**〔36、41、57、64、70、85〕
設定や編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消します。

⑳ **CD（音楽CD、MP3、WMA）操作部**〔26、33〕
- **≜ボタン**：ディスクトレイを開閉します。
- **■ボタン**：再生を停止します。
- **▶/❙❙ボタン**：再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

各部の名前と主な働き

表示部

① レベル表示
音声レベルを表示します。

② MUTING表示
ミューティングが働いているときに点滅します。

③ S.BASS表示
スーパーバス設定時に点灯します。

④ FM/AM受信状態表示
FM/AM受信時の状態を表示します。

⑤ 再生モード表示

1GR	：1グループ再生時に点灯します。
MEM	：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM	：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT	：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1	：1曲リピート再生時に点灯します。

⑥ WMA/MP3表示
CDまたはUSBに録音されているWMAファイルまたはMP3ファイル再生時に再生しているそれぞれのインジケーターが点灯します。

⑦ CD 再生表示
CDの再生状態を表示します。

⑧ DUB表示
ダビング時に点灯します。

⑨ MD再生、録音表示
MDの再生、録音状態を表示します。

⑩ TOC表示
録音や編集など、MDに情報を書き込むときに、点灯や点滅します。

⑪ MD録音モード表示
MDの再生や録音するモードが点灯します。

⑫ L.SYNC表示
レベルシンクが働いているときに点灯します。

⑬ SLEEP表示
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑭ TIMER表示
タイマーのセット状態を表示します。
数字：タイマー1～4設定時にその番号が点灯します。
□：タイマー録音設定時に番号の枠が点灯します。

⑮ SOURCE表示
録音しているときに点灯し、多目的表示部にはソース名が表示されます。

⑯ 多目的表示部
再生時間や名前などを表示します。

⑰ GROUP/TRACK表示

GROUP	：グループ数が表示されているときに点灯します。
TRACK	：トラック数が表示されているときに点灯します。

⑱ DIGITAL表示
再生するソースがデジタルの場合に点灯します。
音楽CDからMDへのダビング時は、デジタル録音のときに点灯します。

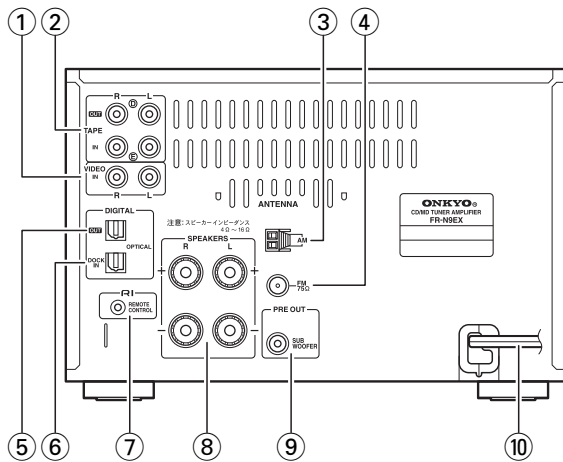
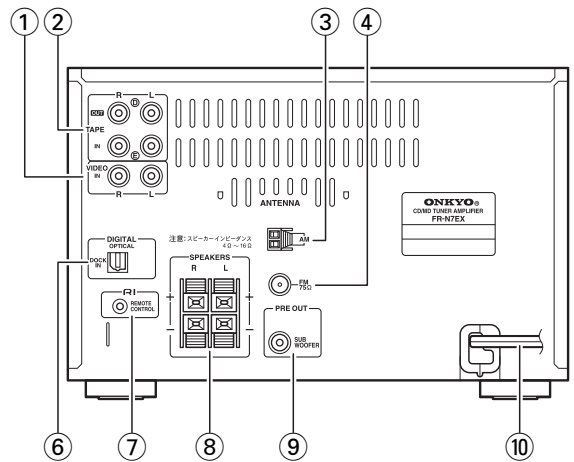
⑲ MD表示
録音中、表示をMDにすると点灯します。

⑳ GROUP表示
グループ名が表示されているときに点灯します。

㉑ CD/MD/USB情報
多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

各部の名前と主な働き

後面パネル

FR-N9EX

FR-N7EX

① VIDEO IN端子
ビデオ機器などの音声信号やオンキヨー製リモートインタラクティブドック（RIドック）などを接続する端子です。（☞23ページ）

② TAPE IN/OUT端子
テープデッキを接続する端子です。

③ ANTENNA（AM）端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

④ ANTENNA（FM75Ω）端子
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続する端子です。

⑤ DIGITAL OUT端子（FR-N9EXのみ）
光デジタル音声の出力端子（PCM信号）です。
デジタル入力端子付きのCDレコーダーなどを接続します。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑥ DIGITAL IN（DOCK）端子
光デジタル音声の入力端子です。PCM信号にのみ対応しています。
オンキヨー製デジタルメディアトランスポート（☞22ページ）、またはデジタル出力端子付きのゲーム機、CSチューナーなどを接続します。

⑦ RI REMOTE CONTROL端子
RI端子付きのオンキヨー製機器と接続し、連動させるための端子です。

⑧ SPEAKERS端子
付属のスピーカーを接続する端子です。

⑨ PRE OUT（SWBWOOFER）端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

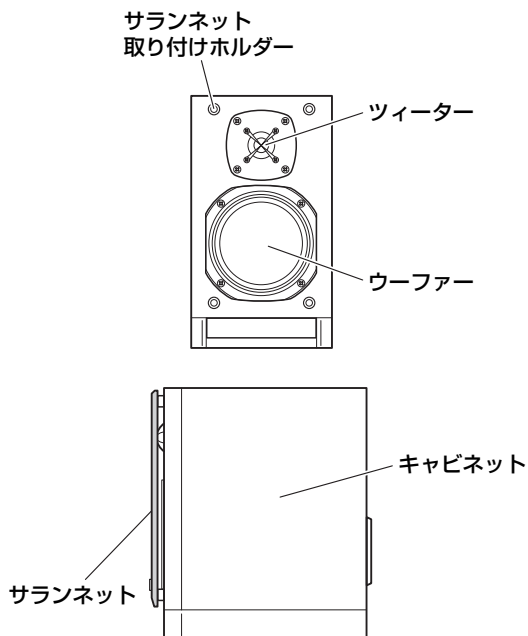
⑩ 電源コード

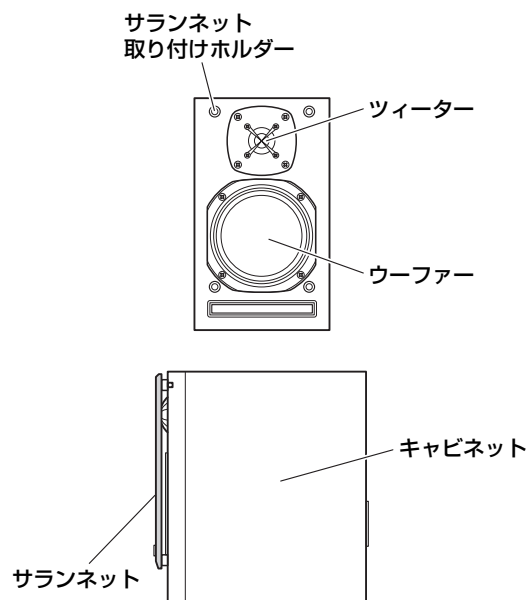
接続については、18～24ページをご覧ください。

スピーカー

D-N9EX、D-N7EX は左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側 / 右側で使用しても音質は変わりません。

● D-N9EX

「X-N9EX」にはスピーカー「D-N9EX」が付属しています。

● D-N7EX

「X-N7EX」にはスピーカー「D-N7EX」が付属しています。

サランネットの脱着について

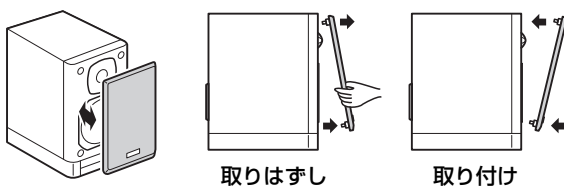
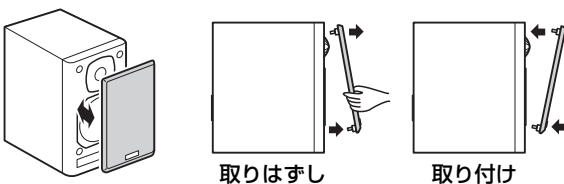
D-N9EX、D-N7EX は前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

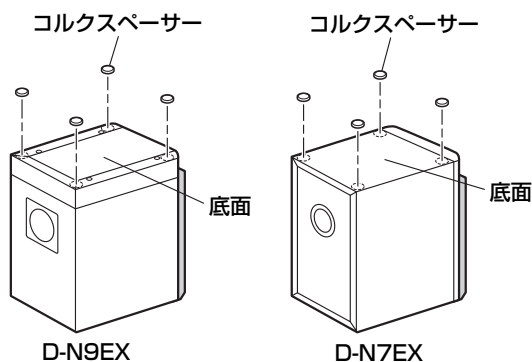
1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるピンを本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。

● D-N9EX

取りはずし　取り付け

● D-N7EX

取りはずし　取り付け

付属のコルクスペーサーを使う

より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

各部の名前と主な働き

リモコン（アンプ、チューナー）

ここでは、アンプ操作やチューナー操作をするときに使用するボタンについて説明します。

各部の名前と主な働き

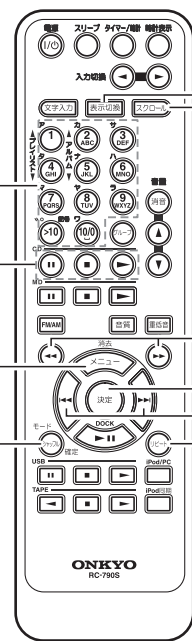
リモコン（CD）

ここでは、CD（音楽CD、MP3、WMA）を操作するときに使用するボタンについて説明します。

文字、記号、アルファベット、数字ボタン
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

CD操作ボタン
▮▮：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

メニュー/消去ボタン
メモリー再生などで表示された内容を取り消します。

モード/シャッフル/確定ボタン
メモリー再生やランダム再生、1グループ再生を設定します。

表示切換ボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選びます。

スクロールボタン
表示部に表示された文字を移動表示します。

◀◀/▶▶ ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。

決定ボタン
選択した内容を決定します。

⏮/⏭ボタン
前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

リピートボタン
くり返し再生します。

リモコン（MD）

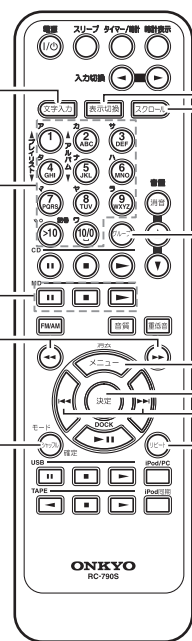
ここでは、MD を操作するときに使用するボタンについて説明します。

文字入力ボタン
文字を入力するときに使用します。

文字、記号、アルファベット、数字ボタン
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

MD操作ボタン
▮▮：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生、録音（録音待機状態から）を始めます。

◀◀/▶▶ ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。文字入力時、カーソル移動にも使用します。

モード/シャッフル/確定ボタン
メモリー再生やランダム再生を設定します。

表示切換ボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選びます。

スクロールボタン
表示部に表示された文字を移動表示します。文字入力時、文字の種類を選びます。

グループボタン
グループ選択、グループ再生をするときに使用します。

メニュー/消去ボタン
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

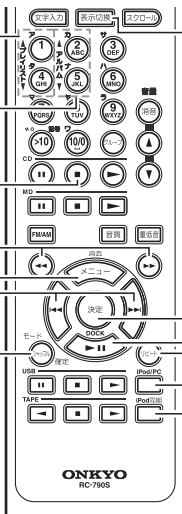
決定ボタン
編集や各設定で項目を決定します。

⏮/⏭ボタン
前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

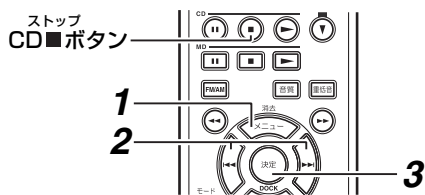
リピートボタン
くり返し再生します。

リモコン（DOCK）

ここでは、DIGITAL IN端子にデジタルメディアトランスポートND-S1を接続した場合、またはVIDEO IN端子にRIドックを接続した場合に使用できるボタンについて説明します。

- 機器の接続については、22、23ページをご覧ください。
- 接続した機器に合わせて、入力の表示名称を変更する必要があります。85ページをご覧ください。
- 下記のリモコンボタンで、ドックにセットしたiPodを操作できます。

ご注意

- iPodの機種やソフトウェアのバージョンあるいは再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。
- プレイリストが選べないときは、iPodでいずれかのプレイリストを再生した後、プレイリスト▲/▼ボタンを操作してください。
- アルバムを選ぶには、iPodを「アルバム」－「全曲」で再生した後、アルバム▲/▼ボタンを操作してください。

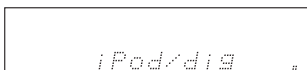
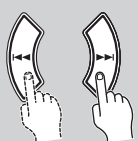
iPodのメニュー操作（リモコン操作のみ）

1

入力がiPod/dig、DOCK/digまたはDOCK

メニュー/消去ボタンを押して、iPodにメニューを表示させる

さらに押すと、前のメニューに戻ります。このとき、本機の表示部右端にドットが表示され、本機もメニュー操作モードに入ったことを示します。

iPod/dig

2

I◀◀/▶▶Iボタンを押し、iPodのメニューの項目（反転）を移動させる

3

決定ボタンを押して、項目を決定する

ご注意

iPodのメニュー項目の移動は、本機の表示部右端にドットが表示されているとき（メニュー操作モード時）のみ可能で、この間は本来のスキップ動作ができません。
iPodが「再生中」画面に戻ってもドットがまだ点灯しているときは、ドットが消えるのを待つか、CD■ボタンを押してそのモードを解除してからスキップ動作を行ってください。
なお、本機でメニュー操作中にiPod側でも操作すると、本機のメニュー操作モードの認識にずれが生じますので、本機でのメニュー操作中はiPod側では操作しないでください。

使用上のご注意
音量は本機の音量▲/▼ボタンで調節します。iPod側で調節しても音量は変わりません。
上記のメニュー操作中、誤ってiPod側の音量を変えないように注意してください。

各部の名前と主な働き

リモコン（USB）

ここでは、本体前面のUSB端子に接続したUSBメモリーを操作するときに使用するボタンについて説明します。

数字ボタン
選曲するときに使用します。

◀◀/▶▶ ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。

メニュー/消去ボタン
設定や編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消します。

モード/シャッフル/確定ボタン
1グループ再生、メモリー再生、ランダム再生を設定します。

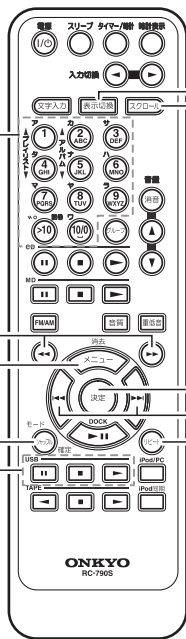
USBメモリー操作ボタン
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
停止時に押して、「Unplug OK」と表示されると、USBメモリーを取り外せます。
▶：再生を始めます。

表示切換ボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。

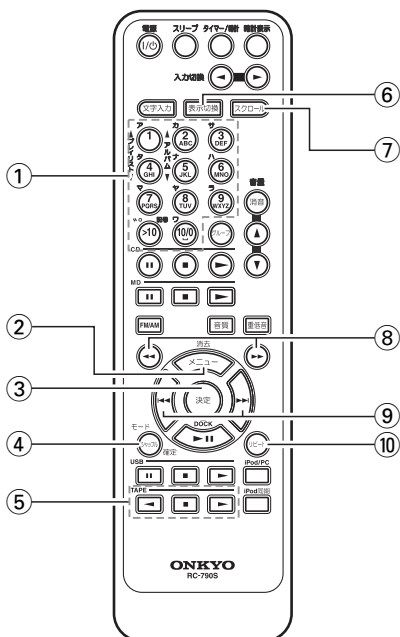
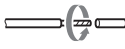
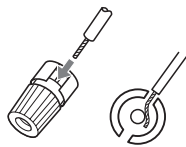
スクロールボタン
表示部に表示された文字を移動表示します。

決定ボタン
選択した内容を決定します。

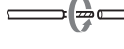
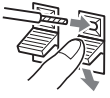
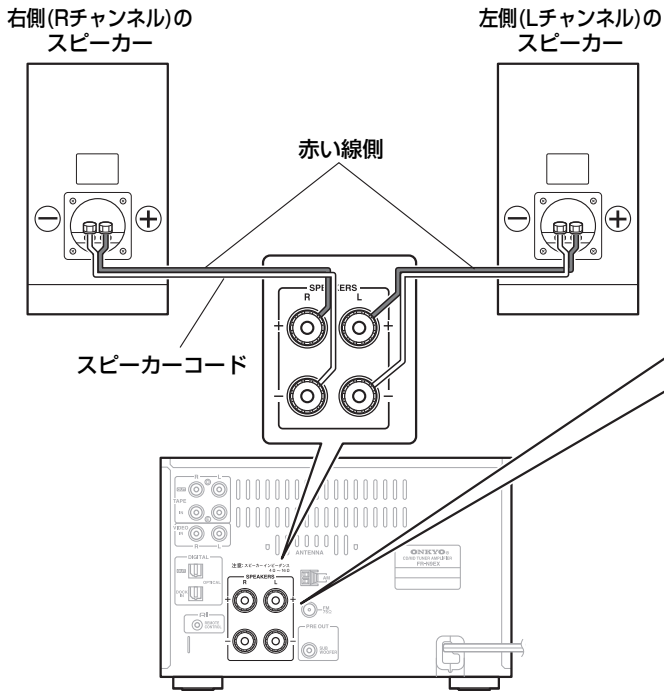
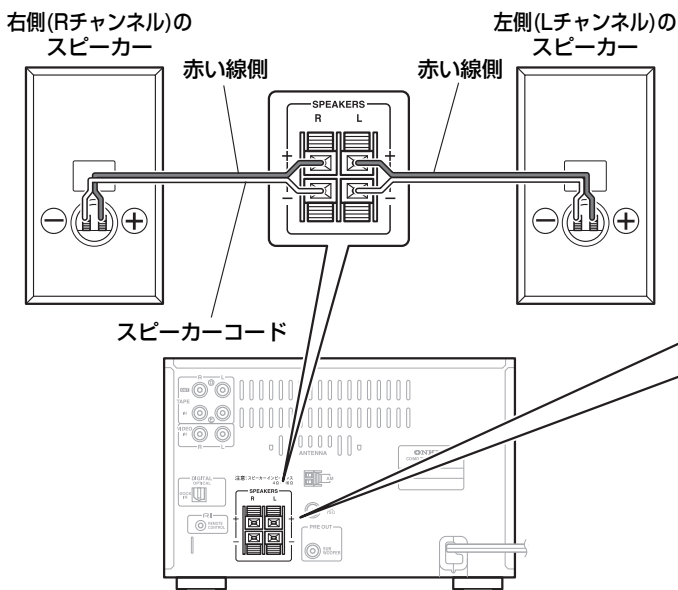
◀◀◀/▶▶▶ボタン
前後の曲を選ぶことができます。
押すたびに前または後に曲番がスキップします。

リピートボタン
くり返し再生します。

リモコン（TAPE、CD-R）

ここでは、TAPE IN/OUT端子にカセットテープデッキやCDレコーダーを接続した場合に使用できるボタンについて説明します。

- ●機器の接続については、23ページをご覧ください。
- ●接続した機器に合わせて、入力の表示名称を変更する必要があります。85ページをご覧ください。

	接続端子	TAPE IN/OUT	
	入力名称 / リモコンのボタン名	TAPE	CD-R
①	1～9		1～9
	10/0		10/0
	>10		>10
②	メニュー/消去		CLEAR
③	決定		ENTER
④	モード/シャッフル/確定	DOLBY NR	MODE
⑤	TAPE ▶	▶	▶
	TAPE ■	■	■
	TAPE ◀	◀	❚❚
⑥	表示切換		DISPLAY
⑦	スクロール		SCROLL
⑧	◀◀/▶▶		◀◀/▶▶
⑨	◀◀◀/▶▶▶	◀◀/▶▶	◀◀◀/▶▶▶
⑩	リピート	REV MODE	REPEAT

- ●それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ●空欄はボタンを押しても動作しません。

接続する

スピーカーを接続する

FR-N9EXにスピーカーを接続する

FR-N7EXにスピーカーを接続する

スピーカーの接続について

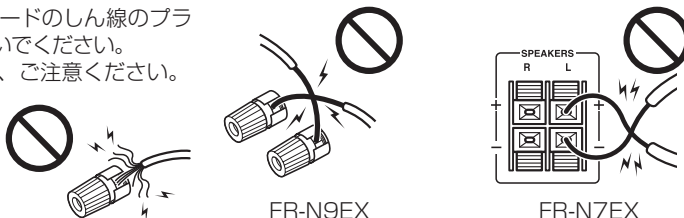
- 本機のスピーカー端子のプラス⊕とスピーカーのプラス⊕端子、本機のスピーカー端子のマイナス⊖とスピーカーのマイナス⊖端子を接続します。
- スピーカーはインピーダンスが4Ω(オーム)〜16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。

危険

- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラス⊕とマイナス⊖を絶対に接触させないでください。
  また、リアパネルにも触れないように、ご注意ください。
- スピーカーコードは、しっかりとよじってください。銅線がリアパネルに触れると、ショートする原因となります。

FR-N9EX

FR-N7EX

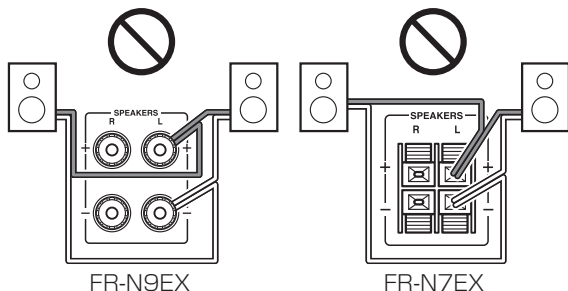
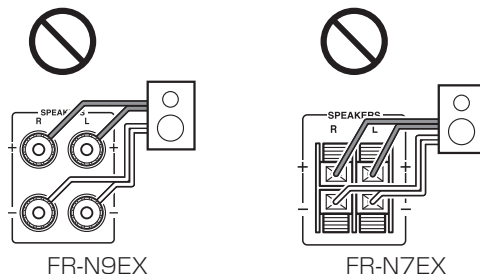
ご注意

- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続すると音声が不自然になりますのでご注意ください。
- スピーカー端子に複数のスピーカーコードは接続しないでください。故障の原因になります。（例1）
- 1台のスピーカーを左右スピーカー端子に並列接続しないでください。（例2）

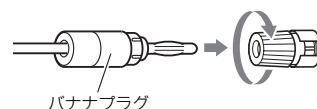
例１：

FR-N9EX　FR-N7EX

例２：

FR-N9EX

FR-N7EX

■バナナプラグタイプのスピーカーコードを接続する場合（FR-N9EXのみ）

FR-N9EXの場合は、バナナプラグタイプのスピーカーコードを接続することもできます。その場合は、スピーカー端子のねじを締めてからプラグを差し込んでください。

スピーカーの設置について

スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

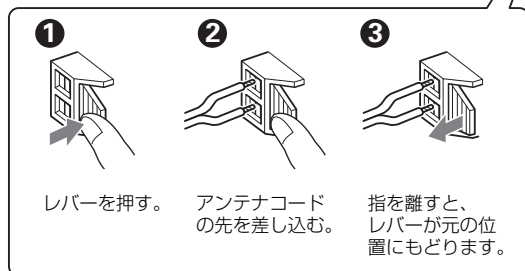
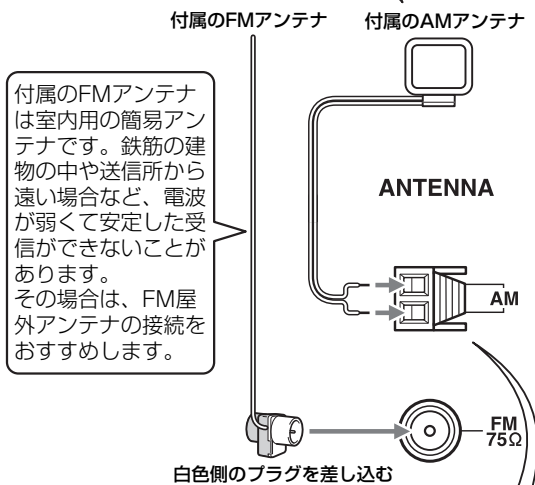
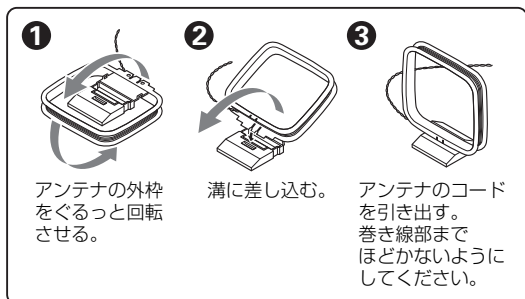
- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック､レンガ､堅い棚等の上に置くようにしてください。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

ご注意

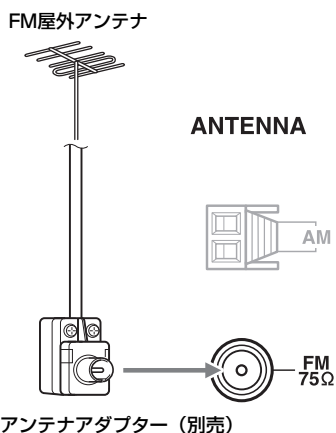
- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞40ページ）

！ヒント

AM アンテナのコードは、先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。

FM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

！ヒント

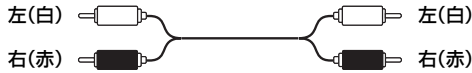
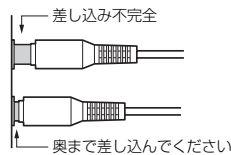
ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定したFM受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ(R の表示)を右チャンネル、白いプラグ(L の表示)を左チャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル入力端子 / 出力端子について

本機の光デジタル入出力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

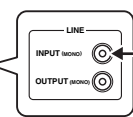
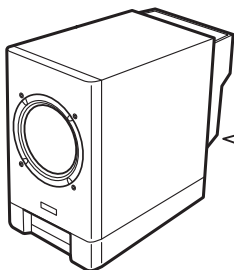
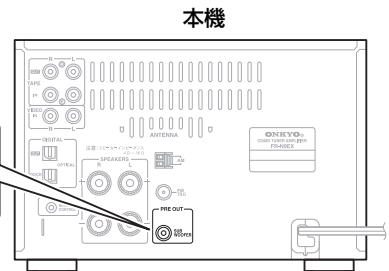
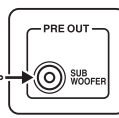
設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

音声ケーブルと端子の種類について

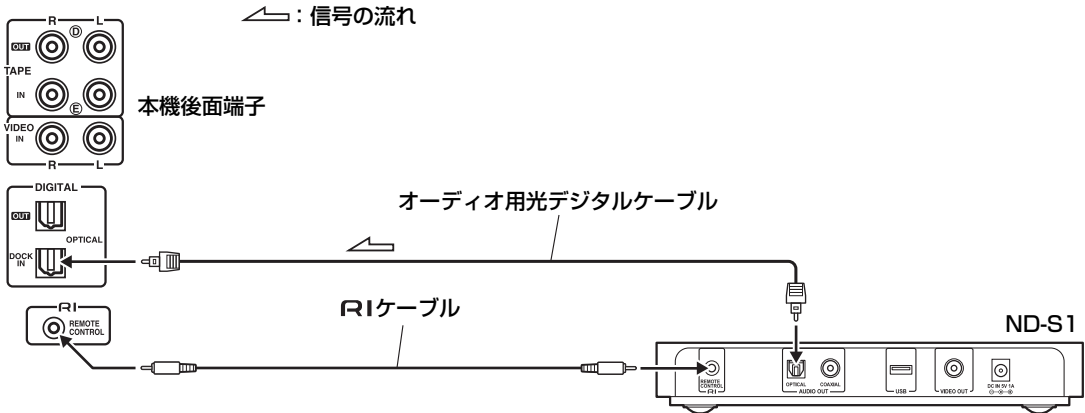
本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル (OPTICAL)(オプティカル)		OPTICAL	デジタル信号を伝送します。
オーディオ用ピンコード		AUDIO R L	アナログ音声を伝送します。
ステレオミニプラグケーブル		LINE IN	アナログステレオ音声を伝送します。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

外部機器を接続する

デジタルメディアトランスポートND-S1を接続する

ND-S1の取扱説明書をご覧ください。
本機のDIGITAL IN（DOCK）端子とND-S1のDIGITAL OUT端子を接続してください。
本機のRI端子とND-S1のRI端子を接続してください。
- デジタル入力の表示名称を「DOCK/dig」にする必要があります。お買い上げ時の設定は、「DOCK/dig」ですのでそのままお使いください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。
- 本機に付属のリモコンでND-S1にセットしたiPodを操作できます。
- ND-S1にセットしたiPodの再生を始めると、本機の入力が自動的に「iPod/dig」に切り換わります。

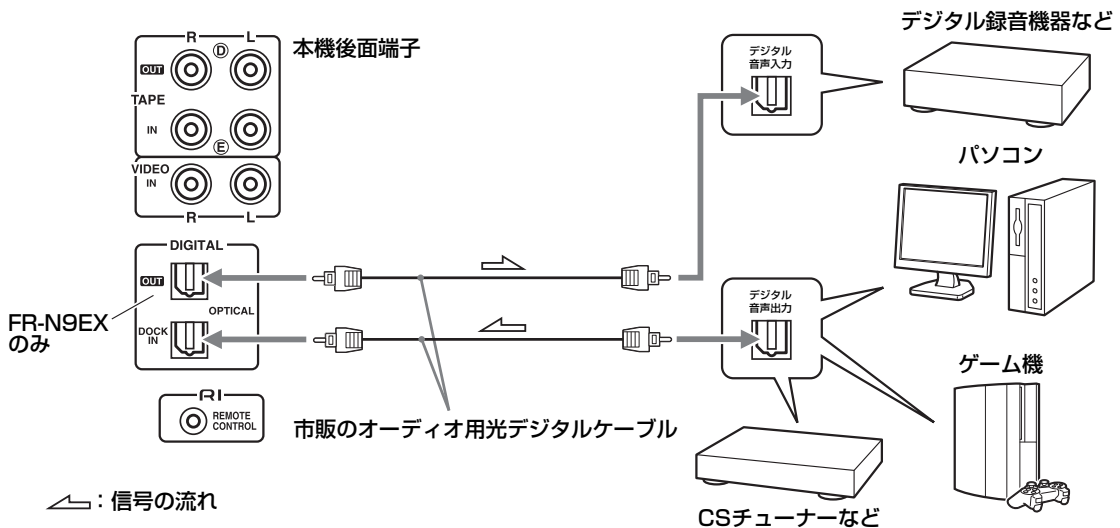
ご注意

デジタルメディアトランスポートND-S1とRIドックを同時にRIケーブルで接続して連動させることはできません。ND-S1を接続するときは、RIドックのRIケーブルをはずしてください。

パソコンやゲーム機などを接続する

■パソコンやゲーム機などとの接続

本機のDIGITAL IN（DOCK）端子とパソコンやゲーム機などのデジタル音声出力端子を、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。
- DIGITAL IN（DOCK）端子に接続した機器の音声を聞くときは、入力を「DIGITAL」に切り換えます。（☞25ページ）

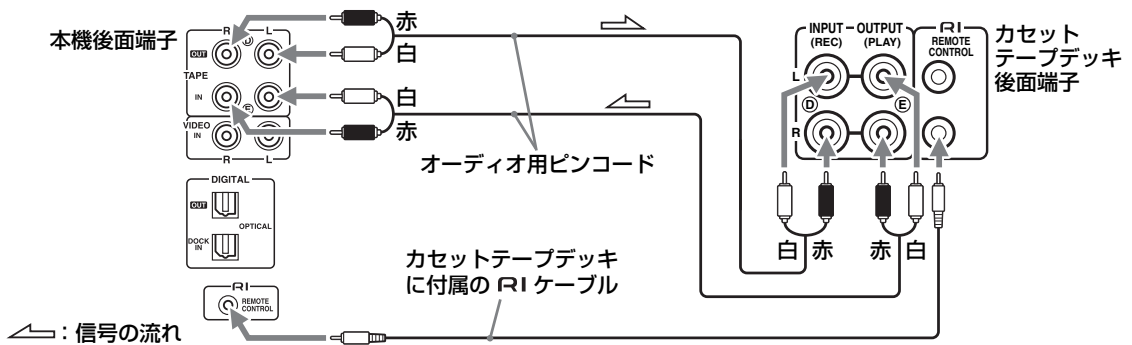
(FR-N9EXのみ) 本機からデジタル録音機器にデジタル録音するには、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OUT端子とデジタル録音機器のデジタル音声入力端子を接続します。

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

■オンキヨー製カセットテープデッキとの接続

本機のTAPE OUT端子Ⓓとカセットテープデッキの IN端子Ⓓを接続してください。
本機のTAPE IN端子Ⓔとカセットテープデッキの OUT端子Ⓔをそれぞれ接続してください。

- TAPE入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）

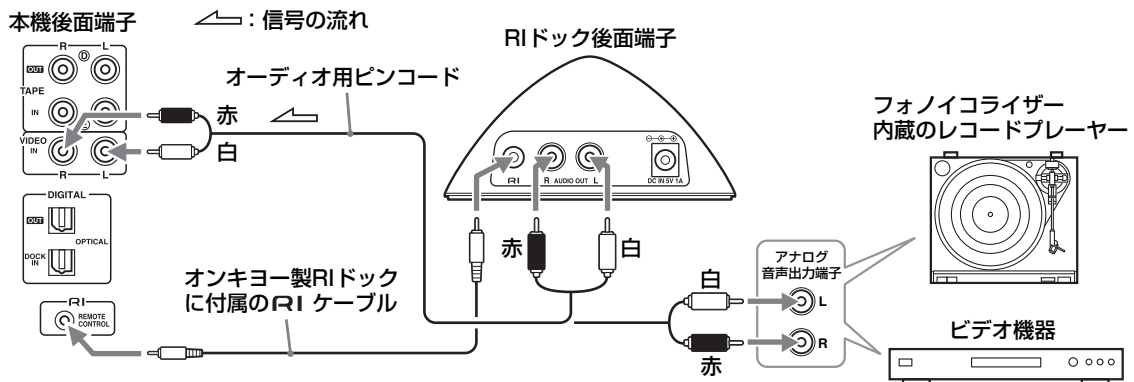
RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞52ページ）

■その他のカセットテープデッキと接続する場合

本機のTAPE OUT端子Ⓓとカセットテープデッキの音声入力端子、本機のTAPE IN端子Ⓔとカセットテープデッキの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

他の機器を接続する

ビデオ機器などの音声信号やオンキヨー製リモートインタラクティブドック（RIドック）などを接続することができます。
本機のVIDEO IN端子と外部機器の音声出力端子を接続してください。

- DS-A1XPなどのRIドックを接続するときは、RIケーブルも接続し、VIDEO入力の表示名称を「DOCK」にする必要があります。（☞85ページ）また、RIドックのMODEスイッチを「HDD/DOCK」にしてください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製 RI ドックを操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製 RI ドックの再生をすると、本機の入力が自動的に「DOCK」に切り換わります。

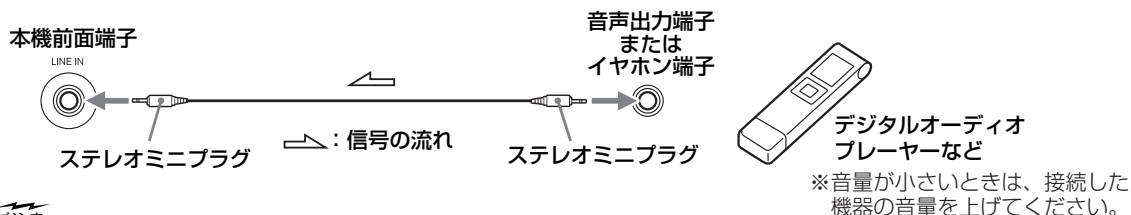
ご注意

RIドックとデジタルメディアトランスポートND-S1を同時にRIケーブルで接続して連動させせることはできません。RIドックを接続するときは、ND-S1のRIケーブルをはずしてください。

外部機器を接続する

ポータブルオーディオ機器を接続する

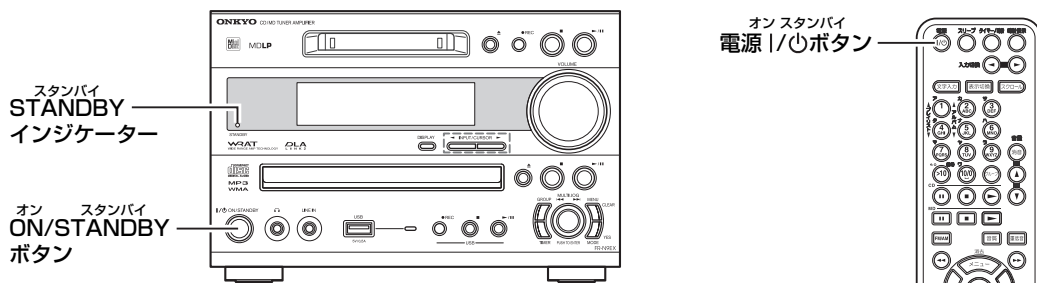
本機前面のLINE IN端子はポータブルオーディオ機器を接続するのに便利です。
LINE IN端子には、デジタルオーディオプレーヤー、ICレコーダーなどを接続して再生することができます。
本機のLINE IN端子はステレオミニジャックです。接続する機器の端子に適合した市販の接続ケーブルをお使いください。

※音量が小さいときは、接続した機器の音量を上げてください。

ご注意

- 接続用のケーブルには、抵抗入りではないものをご使用ください。
- 本機のLINE IN端子へ他機のイヤホン端子を接続する場合は、あらかじめ接続する機器側の音量を調整しておいてください。
- LINE IN端子へ接続する場合、となりの🎧（フォーンズ）端子へ誤って接続しないようご注意ください。間違って接続すると、故障の原因となります。

電源を入れる

電源コードを接続する

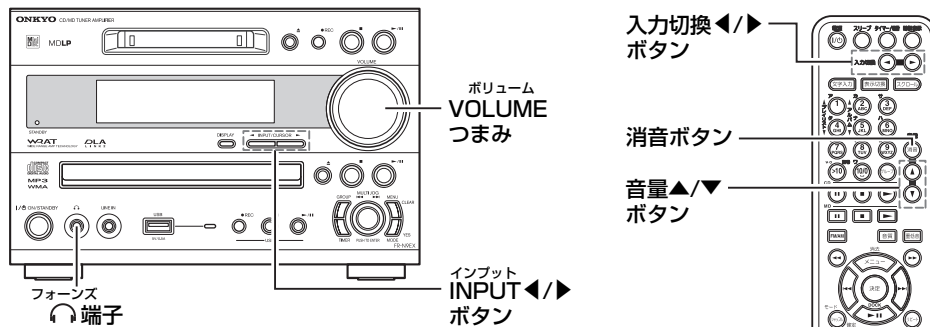
すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、
STANDBY（スタンバイ） インジケーターが点灯します。

電源を入れる

本体のON/STANDBYボタンまたはリモコンの電源I/⏻ボタンを押す

STANDBYインジケーターが消え、表示部が点灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製機器の電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のオンとスタンバイを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源も入ったりスタンバイ状態になります。

基本の操作を理解する

入力を切り換える

本体のINPUT◀/▶ボタンまたはリモコンの入力切換◀/▶ボタンを押して切り換える

CD、MD、USB、FM放送、AM放送、接続した外部機器から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

＊1 FMとAMの切り換えは、本体のMULTI JOGダイヤルを押して行います。MULTI JOGダイヤルを押すたびにFMとAMが交互に切り換わります。リモコンのFM/AMボタンでも切り換えることができます。

＊2 デジタルメディアトランスポートND-S1を接続して、ND-S1の入力を切り換えるとiPod/digまたはPC/digに切り換わります。

音量を調節する

本体のVOLUMEつまみを回すか、リモコンの音量▲/▼ボタンを押す

音量は、Min、1～41、Maxの範囲で調節できます。

音を一時的に消す

リモコンの消音ボタンを押す

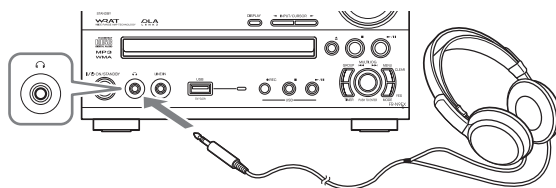
MUTING表示とVOLUMEインジケーターが点滅し、音が消えます。

もう一度押すと、解除されます。

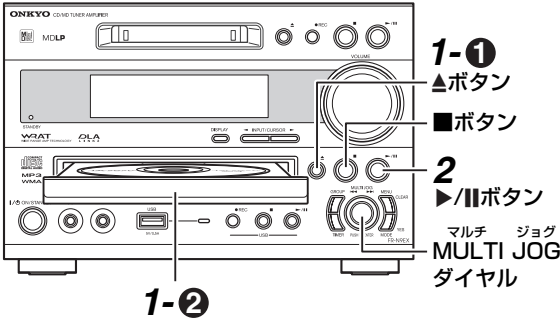
以下のときも解除されます。

- 音量を調整したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグを端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

ご注意

端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると故障の原因となります。となりのLINE IN端子へ接続するケーブルを間違って端子へ差し込まないよう、ご注意ください。

CD（音楽CD、MP3、WMA）を聞く

操作の前に
電源を入れてください。

1

（CD側）

ディスクをセットする

❶CD▲（オープン/クローズ）ボタン押して、トレイを開く

❷ディスクをトレイに置く

レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。
8cmディスクのときは、内側のくぼみの中に置きます。

！ヒント

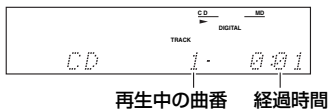
スタンバイ状態のときにCD▲（オープン/クローズ）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

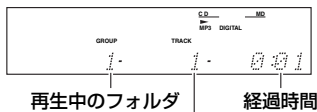
2

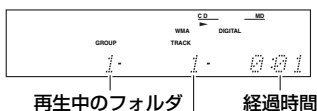
（CD側）

CD▶/‖（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

トレイが閉まって再生が始まります。

音楽CDの場合

再生中の曲番　経過時間

MP3ディスクの場合

再生中のフォルダ　経過時間
再生中のファイル

WMAディスクの場合

再生中のフォルダ　経過時間
再生中のファイル

聞きたい曲を選ぶ

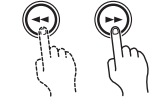
- 再生中にMULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。右に回すと1曲ずつ次へ進みます。
停止中は左に回すと1曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと1曲ずつ次の曲に進みます。
リモコンでは、再生中に|◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は|◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、▶▶|ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。
- 再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、音楽CDの場合は次の曲へ進みます。MP3、WMAディスクの場合は、次のフォルダの1曲目へ進みます。

リモコンで早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

一時停止する

CD▶/‖（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

表示部に‖表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

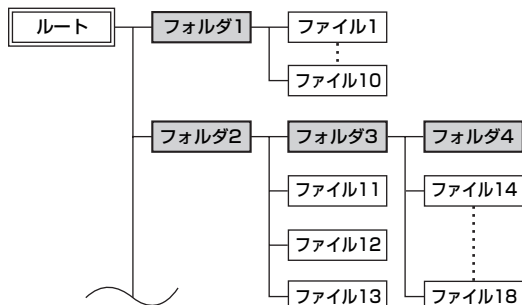
再生を止める

CD■（ストップ）ボタンを押す

ディスクを取り出す

CD▲（オープ/ンクローズ）ボタンを押してトレイを開ける

CD（MP3、WMA）の中のファイルを選ぶ

CD（MP3、WMA）では、フォルダの中にファイルが入っています。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中にファイルが入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

再生するときにフォルダもファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。
フォルダを選んでから再生したいファイルを選ぶには、次の二つの方法があります。

ナビゲーションモード：フォルダの階層にしたがって順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。

オールフォルダモード：すべてのフォルダが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダを選んでファイルを選びます。

ナビゲーションモードでファイルを選ぶ

ランダム再生モードまたは1グループモードになっているときは、MODE/YESボタンを押して解除してください。

1. 停止中にGROUPボタンを押す
表示部に「Root」と表示されます。

2. MULTI JOGダイヤルを押す
「Root」の下の最初のフォルダ名が表示されます。
フォルダが無いときは、ファイルの名前が表示されます。

3. MULTI JOGダイヤルを回して、同じ階層にあるフォルダやファイルを選ぶ
ファイルの入っていないフォルダは選ぶことができません。

4. フォルダやファイルを選んだら、MULTI JOGダイヤルを押す
階層が何段階もある場合は、手順 ***3***、***4*** をくり返してファイルを選んでください。
1つ前の階層に戻るには、MENU/CLEARボタンを押します。

5. MULTI JOGダイヤルを押す
選んだファイルの再生が始まります。
- CD►/❚❚ボタンを押して、再生を始めることもできます。
- フォルダ選択中にCD►/❚❚ボタンを押すと、フォルダのはじめのファイルを再生します。

！ヒント

リモコンのグループボタン、決定ボタン、❚◄◄/►►❚ボタンでも操作することができます。

オールフォルダモードでファイルを選ぶ

ランダム再生モードになっているときは、MODE/YESボタンを押して解除してください。

1. 停止中にGROUPボタンを2秒間押し続ける
「Root」の表示が消えるまで押し続けてください。表示部に、最初のフォルダ名が表示されます。

2. MULTI JOGダイヤルを回して、フォルダを選ぶ
ファイルの入っているフォルダを選ぶことができます。
選んだフォルダの最初のファイルから再生したいときは手順***4*** へ進んでください。

3. GROUPボタンを押して、フォルダ内のファイルを選ぶ
フォルダ内の最初のファイルの名前が表示されるので、MULTI JOGダイヤルを回して、再生したいファイルを選んでください。他のフォルダを選びたいときは、GROUPボタンをもう一度押し続けると手順***2*** からやり直すことができます。

4. MULTI JOGダイヤルを押す
選んだファイルまたはフォルダの再生が始まります。
- CD►/❚❚ボタンを押して再生を始めることもできます。

！ヒント

- 再生中に他のフォルダを選ぶには、GROUPボタンを押しMULTI JOGダイヤルを回して、再生したいフォルダを選んでMULTI JOGダイヤルを押します。そのフォルダの最初のファイルが再生されます。
- 再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、次のフォルダの1曲目へ進みます。
- リモコンのグループボタン、決定ボタン、❚◄◄/►►❚ボタンでも操作することができます。

■一時停止するには

本体のCD►/❚❚ボタンまたはリモコンのCD❚❚ボタンを押す
再び再生を始めるには、同じボタンを押します。

■ナビゲーションモードやフォルダモードを解除するには

本体のCD■ボタンまたはリモコンのCD■ボタンを押す

■リモコンの数字ボタンでフォルダやファイルを選ぶには

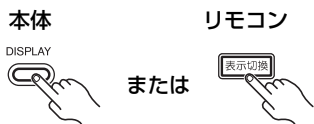
フォルダモードのときに使用できます。
① 例のように数字ボタンを押してフォルダ番号を入力します。
停止中の場合は、フォルダ内の最初のファイルの再生が始まります。
再生中の場合は、そのフォルダ内の数字ボタンのファイル番号を再生します。
② 数字ボタンでファイル番号を入力します。
ファイルの再生が始まります。

フォルダに10曲以上のファイルが入っている場合、次のように選曲します。

例）
32曲目：(>10)、(3)、(2)（曲数が99以下のとき）
(>10)、(10/0)、(3)、(2)（曲数が100以上のとき）
132曲目：(>10)、(1)、(3)、(2)

表示部の情報を切り換える

本体　　リモコン

DISPLAY　　または　　表示切換

本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンまたはリモコンの表示切換ボタンを押す

くり返しボタンを押すと、下記のように情報の切り換えができます。

■音楽CDの場合

停止中

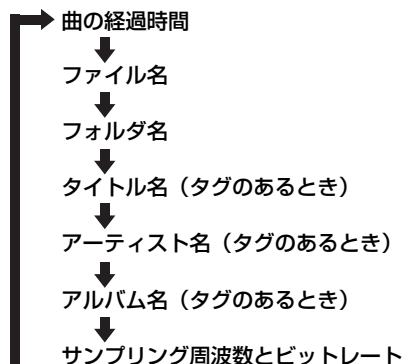
総曲数　総再生時間（DISC（ディスク） TOTAL（トータル））

再生中、一時停止中

■MP3、WMAディスクの場合

停止中

総フォルダ数　総ファイル数　ディスク名

再生中、一時停止中

リモコンで操作する

CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

(10/0) ボタン：10または0を選びます。

(>10) ボタン：2桁以上の曲を選びます。

例）曲番 押すボタン

曲番	押すボタン
8	(8)
10	(10/0)
34	(>10)、(3)、(4)（曲数が99以下のとき）
	(>10)、(10/0)、(3)、(4)（曲数が100以上のとき）

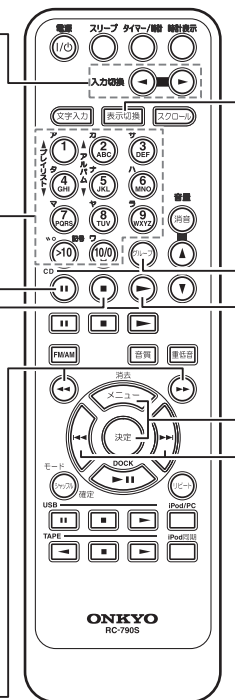
11曲目以降を再生するときは、(>10)を押してから選曲します。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

表示部の情報を切り換える

表示切換ボタンを押します。

フォルダを選ぶ

グループボタンを押します。

再生する

ディスクがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

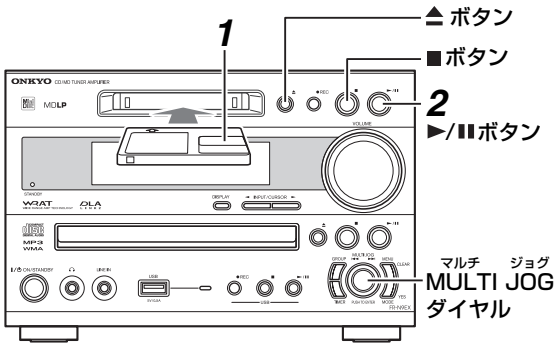
前後のフォルダを選ぶ

MP3、WMAディスクの再生中、メニューボタンを押すと前のフォルダの1曲目になります。決定ボタンを押すと次のフォルダの1曲目になります。

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。

※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

MDを聞く

操作の前に
電源を入れてください。

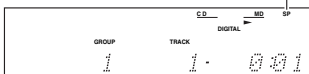
1

MDをセットする

再生専用か、録音済みのMDを選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。

！ヒント

スタンバイ時はMDをセットすることができません。電源を入れてから、MDを挿入してください。

2

（MD側）

MD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

再生が始まります。

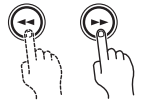
グループのあるMDのとき

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中にMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。右に回すと1曲ずつ次へ進みます。
  停止中は左に回すと1曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと1曲ずつ次の曲に進みます。
  リモコンでは、再生中に❙◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は❙◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、▶▶❙ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。
- 再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、グループのないMDの場合は次の曲へ進みます。グループのあるMDの場合は、次のグループの1曲目へ進みます。

リモコンで早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

！ヒント

一時停止中の早戻し/早送りは音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

一時停止する

MD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

MD■（ストップ）ボタンを押す

MDを取り出す

MD≜（イジェクト）ボタンを押す

リモコンで操作する

MDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

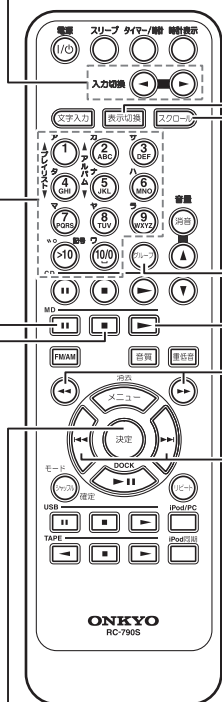
(10/0) ボタン：10または0を選びます。
(>10) ボタン：2桁以上の曲を選びます。
ディスクやグループに含まれる曲数に応じた桁が「－」で表示されます。桁数より少ない曲番を入力するときは、上位の桁には「0」を入力してください。

例） 選ぶ曲番	押すボタン
13	(>10) (1) (3)

グループの選びかたは、62ページをご覧ください。

再生を一時停止する
もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

次のグループを選ぶ
再生中、グループがあれば次のグループの1曲目になります。

表示部の情報を切り換える
表示切換ボタンを押します。

ディスク名/曲名をスクロール表示する

グループを選ぶ
グループボタンを押します。

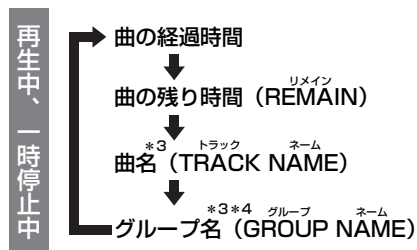
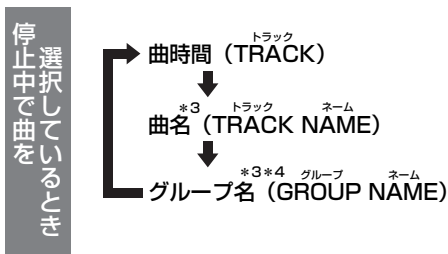
再生する
MDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

早戻し/早送りをする
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

聞きたい曲を選ぶ
※ 再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
※ ⏭ ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

表示部の情報を切り換える

本体のDISPLAYボタンまたはリモコンの表示切換ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。
何も録音されていないMDのときは、「MD Blank Disc」と表示されます。

再生中、一時停止中
曲の経過時間
↓
曲の残り時間（REMAIN）
↓
曲名*3（TRACK NAME）
↓
グループ名*3*4（GROUP NAME）

*1 総時間が999分59秒を超える場合は「－－－：－－」と表示されます。
*2 再生専用ディスクのときは表示しません。
*3 リモコンのスクロールボタンを押すと、全ての文字をスクロールさせて表示することができます。
名前がついていないときは、表示されません。（☞「MD、登録した放送局に名前をつける」74ページ）
*4 選択された曲がグループに入っていない場合は表示されません。

USBメモリーを聞く

- MP3とWMAのみ、再生することができます。
- iPod（iTunes録音）、Walkman（SonicStage録音）、携帯電話、パソコンを接続しても再生できません。
- 日本語のファイル名/フォルダ名は、表示できない文字が含まれていると、File_XXXXX/Folder_XXXと表示されます。
- 日本語のタイトル名/アーティスト名/アルバム名は、漢字など表示できない文字は「・」に置き換えられます。ひらがなは、カタカナに変換されて表示されます。

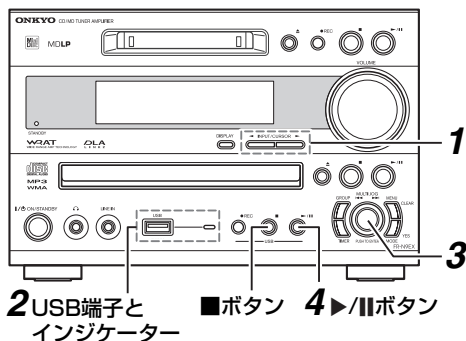
再生可能なUSBメモリーの種類とファイル

- USBメモリーのフォーマットはクラスタサイズ32K以下のFAT16とFAT32に対応しています。
- MPEG-1 Audio LAYER-3でサンプリング周波数32、44.1、48kHzが再生可能です。
- MPEG-2 Audio LAYER-3、MPEG-2.5 Audio LAYER-3 MP1、MP2は再生できません。
- MP3は、ビットレート32-320kbpsで拡張子が「.MP3」「.mp3」のものが再生可能です。
- WMAは、ビットレート64-192kbpsで拡張子が「.WMA」「.wma」（WMA9でのエンコードに対応）のものが再生可能です。

操作の前に　電源を入れてください。

1

INPUT◄/►ボタンを（くり返し）押して「USB」を表示させる

USB

2

USBメモリーを接続する

USBメモリーを本体前面のUSB端子に接続します。

3

MULTI JOGダイヤルを回し再生するファイルを選ぶ

フォルダを選ぶ場合は、GROUPボタンを押しMULTI JOGダイヤルを回してフォルダを選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

- 「CD（MP3、WMA）の中のファイルを選ぶ」、「オールフォルダモードでファイルを選ぶ」参照（☞27 ページ）

4

（USB側）

USB►/❙❙ボタンを押す

再生が始まり、USBインジケーターが緑色に点灯します。

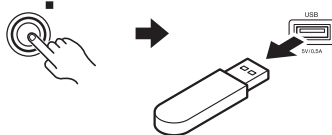
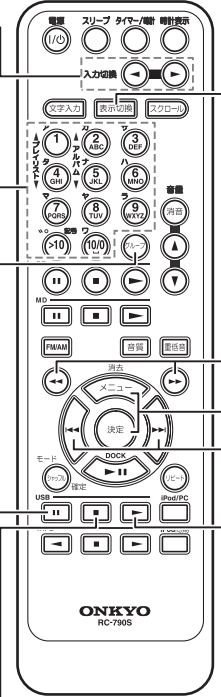
一時停止する

USB►/❙❙ボタンを押す

USBインジケーターが緑色に点滅します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

USB■ボタンを押す

USBメモリーを取り外す

停止中にUSB■ボタンを押してから、USBメモリーをUSB端子から取り外す

停止中にUSB■ボタンを押すと、表示部に「Unplug OK」が表示されます。その後、USBメモリーを取り外してください。

ご注意

- 使用されるUSBメモリーによっては、再生できないこともあります。（☞92ページ）
- セキュリティ機能付きのUSBメモリーは使用できません。
- 「Unplug OK」が表示される前にUSBメモリーを取り外さないでください。USBメモリーの故障や再生できないなどの原因となります。故障したUSBメモリーや損傷したファイルなどの補償はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- USBハブを使うと再生できません。
- USB端子にパソコンや外付けハードディスクを接続しないでください。
- USBメモリーに多くのデータが入っている場合、読み込みに時間がかかる場合があります。
- 再生できないファイルを選ぶと「Not Support」と表示され、次の再生可能なファイルを再生します。
- 65280個のファイルと255個のフォルダ（ルートは含まれています）まで対応しています。
- VBRは再生時間が正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護されたWMAは再生できません。

USBメモリーを聞く

リモコンで操作する

USBを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

(10/0) ボタン：10または0を選びます。

(>10) ボタン：2桁以上の曲を選びます。

例）曲番 押すボタン

8 (8 TUV)

10 (10/0)

34 (>10)、(3 DEF)、(4 GHI)（曲数が99以下のとき）

(>10)、(10/0)、(3 DEF)、(4 GHI)（曲数が100以上のとき）

11曲目以降を再生するときは、(>10) を押してから選曲します。

フォルダを選ぶ

グループボタンを押すと、フォルダを選ぶモードになります。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

表示切換ボタンを押します。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

前後のフォルダを選ぶ

再生中、メニューボタンを押すと前のフォルダの1曲目になります。決定ボタンを押すと次のフォルダの1曲目になります。

聞きたいファイルを選ぶ

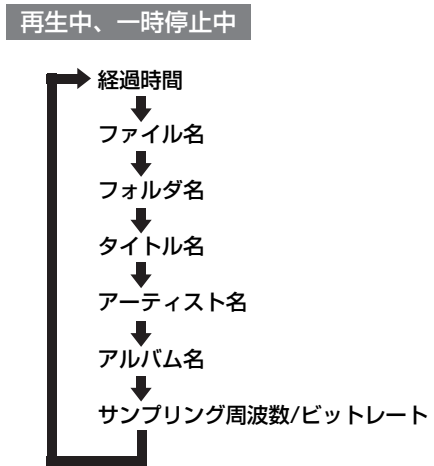
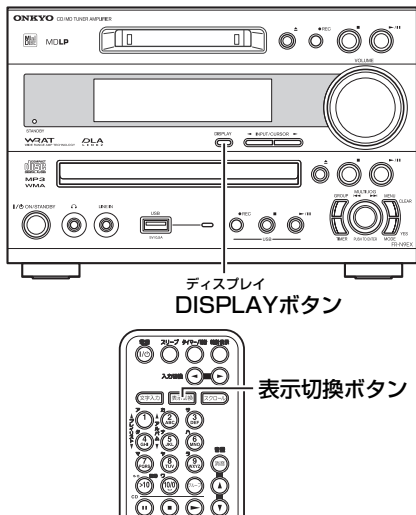
※ 再生中、一時停止中に |◀◀ ボタンを1回押すと聞いているファイルの頭に戻り、2回押すと、前のファイルに戻ります。以降、押すたびに1つ前ファイルになります。

※ ▶▶| ボタンを押すと、押すたびに1つ次のファイルになります。

再生する

USBメモリーが接続されていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

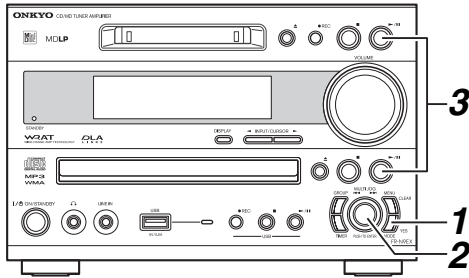
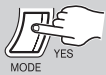
表示部の情報を切り換える

本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンまたはリモコンの表示切換ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。
タイトル名、アーティスト名、アルバム名は、30文字まで表示することができます。

CD（音楽CD、MP3、WMA）/MDのいろいろな再生

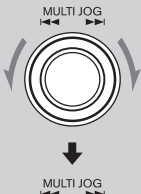
基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

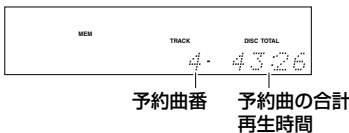
メモリー再生

- 曲を指定し（CD、MDそれぞれ25曲まで）、その順序で再生します。
- CDのお好みの曲をメモリーし、CDダビング機能と組み合わせるとお好みのMDを簡単に作成できます。（CD高速ダビングはできません。）

1

入力がCD/MDで停止中

MODE/YESボタンを（くり返し）押して「MEM」を表示させる

2

MULTI JOGダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して決定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

間違って予約した曲を取り消すには

MENU/CLEARボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。
CD：99分59秒を超えると「--:--」となります。
MD：999分59秒を超えると「---:--」となります。
26曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されれます。

3

CDまたはMD ►/❚❚ ボタンを押す

（CD側）

または

（MD側）

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

■ リモコンで操作する

- MDでグループ内の曲を選ぶには、62ページをご覧ください。

予約した曲の中で選曲するには

再生中にMULTI JOGダイヤルを回すか、リモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、MENU/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

☞「通常再生に戻す」35ページ

- ディスクを取り出しても解除されます。

ランダム再生

●曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

■リモコンで操作する

解除するには

☞「通常再生に戻す」35ページ
●ディスクを取り出しても解除されます。

リピート/1TR(ワントラック)リピート再生

- リモコンで設定します。
- リピート再生はCD、MDのどちらかをくり返し再生します。
- 1TR(ワントラック)リピート再生はCD、MDのどちらか1曲をくり返し再生します。
- リピート再生はMD1グループ再生（☞63ページ）、メモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ、組み合わせて使うことができます。

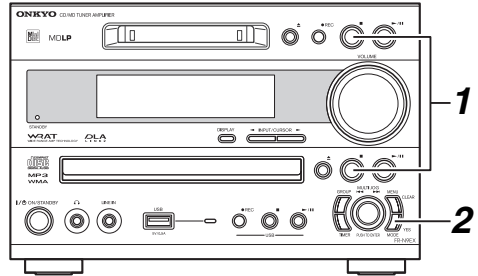
リモコンのリピートボタンを（くり返し）押して「REPEAT(リピート)」または「REPEAT(リピート) 1」を表示させる

「REPEAT(リピート)」または「REPEAT 1」が点灯

リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

リピート、1TR リピート再生を取り消す

リモコンのリピートボタンを（くり返し）押して「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

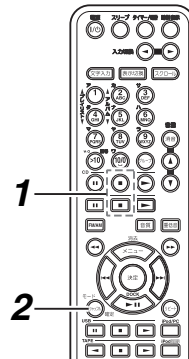
通常再生にもどす

メモリー、ランダム再生を取り消す

1 **CDまたはMD■(ストップ)ボタンを押して再生を止める**

2 **MODE(モード)/YES(イエス)ボタンを（くり返し）押して「MEM(メモリー)」も「RDM(ランダム)」も点灯していない状態にする**

押すたびに表示が

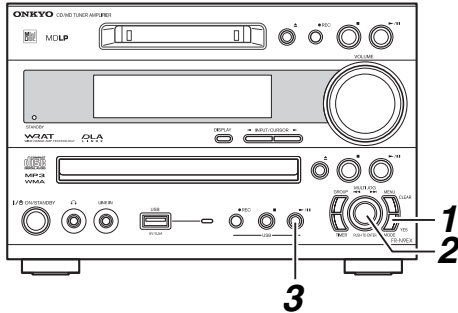
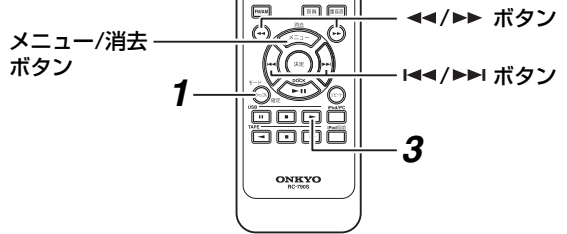
1GR → MEM → RDM → 消灯（→1GRへ戻る）
（1GR：MP3/WMAディスクの場合のみ点灯）

と切り換わります。

■リモコンで操作する

USBメモリーのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生

- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。
- USBメモリーのお好みの曲をメモリーし、ダビング機能と組み合わせるとお好みのMDを簡単に作成できます。（高速ダビングはできません。）

■リモコンで操作する

- USBメモリーで曲を選ぶには、31ページ「USBメモリーを聞く」の手順**3**をご覧ください。

1

入力がUSBで停止中

MODE（モード）/YES（イエス）ボタンを（くり返し）押して「MEM（メモリー）」を表示させる

「MEM（メモリー）」が点灯

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して決定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲名

間違って予約した曲を取り消すには

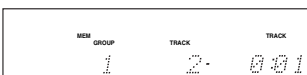
MENU（メニュー）/CLEAR（クリア）ボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

26曲以上は予約できません。
「Memory（メモリー） Full（フル）」と表示されます。

3

USB▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲の中で選曲するには

再生中にMULTI JOGダイヤルを回すか、リモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

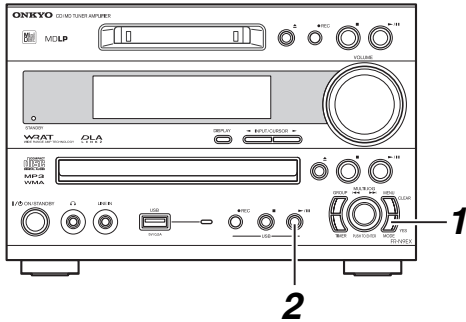
- メモリー再生モードの停止中に、MENU/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

MODE（モード）/YES（イエス）ボタンを（くり返し）押して、「MEM（メモリー）」が点灯していない状態にします。

USBメモリーのいろいろな再生

ランダム再生

- 曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

入力がUSBで停止中

1 **MODE/YESボタンを(くり返し)押して「RDM」を表示させる**

「RDM」が点灯

RDM

2 **USB►/❚❚ボタンを押す**

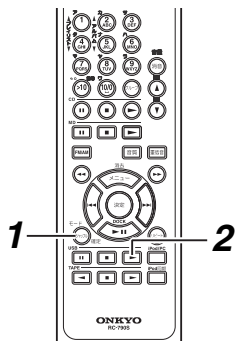
ランダム再生が始まります。

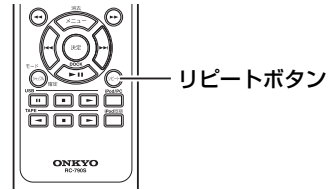
ご注意

ランダム再生中に ⏮ ボタンを押しても、前の曲には戻りません。

解除するには

MODE/YESボタンを（くり返し）押して、「RDM」が点灯していない状態にします。

■リモコンで操作する

リピート再生

- リモコンで設定します。
- 1つのファイルをくり返し再生する1ファイルリピート、すべてのファイルをくり返し再生する全ファイルリピート、1つのフォルダをくり返し再生する1フォルダリピートを行うことができます。

リモコンのリピートボタンを（くり返し）押して「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

1ファイルリピートまたは全ファイルリピート再生モードになります。

1フォルダリピート再生をするには

1. リモコンのグループボタンを押す
2. モード/シャッフル/確定ボタンを（くり返し）押して「1GR」モードを選ぶ
3. ⏮/⏭ボタンを押して、リピート再生するフォルダを選ぶ
4. リピートボタンを押す

1ファイルリピート、全ファイルリピート、1フォルダリピート再生を取り消す

リモコンのリピートボタンを（くり返し）押して、すべてのREPEAT表示が表示されていない状態にする

CD（MP3、WMA）/USBに関する設定

MP3/WMAに関する設定をする

MP3/WMAファイル情報の表示方法を選択したり、MP3/WMAディスクの再生方法などを設定することができます。

1

入力がCDで停止中

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して設定したい項目を選ぶ

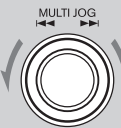
MULTI JOGダイヤルを回して設定したい項目を以下の中から選びます。

- Disc Name?（ディスクネーム）
- File Name?（ファイルネーム）
- Folder Name?（フォルダネーム）
- CD Extra?（CD エクストラ）
- Hide Number?（ハイドナンバー）
- Group Key?（グループキー）

各項目の詳細については、右の「各設定について」をご覧ください。

2

設定したい項目を選んでMULTI JOGダイヤルを押す

3

MULTI JOGダイヤルを回して設定したいモードを選ぶ

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、設定が終了します。

途中で止めたいときは、MENU/CLEARボタンを押してください。

各設定について

Disc Name?（ディスク名）

MP3/WMAディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時の設定はDisplayです。

Display：ディスク名を表示します。

Not Display：ディスク名を表示しません。（MP3またはWMAと表示されます。）

File Name?（ファイル名）

MP3/WMAディスクのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらず曲名がスクロールします。お買い上げ時の設定はScrollです。

Scroll：曲名をスクロール表示します。

Not Scroll：曲名をスクロール表示しません。

Folder Name?（フォルダ名）

MP3/WMAディスクのとき、フォルダ名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらずフォルダ名がスクロールします。お買い上げ時の設定はScrollです。

Scroll：フォルダ名をスクロール表示します。

Not Scroll：フォルダ名をスクロール表示しません。

CD Extra?

CD Extraディスクの再生について設定します。
お買い上げ時の設定はAudioです。

Audio：音楽データを再生します。

MP3/WMA：MP3またはWMAデータを再生します。

Hide Number?

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。
お買い上げ時の設定はDisableです。

Disable：番号表示を隠す機能を設定しません。（番号は表示されたままです。）

Enable：番号表示を隠す機能を設定します。（番号表示は無しになります。）

下表は、Disable/Enableを選んだときにどのように表示されるかの例です。

ファイルや フォルダの名前	Disable を 選んだとき	Enable を 選んだとき
01 Pops	01 Pops	Pops
10-Rock	10-Rock	Rock
16_Jazz	16_Jazz	Jazz
21th Century	21th Century	21th Century
05-07-20 Album	05-07-20 Album	Album

Group Key?

GROUPボタンを押したときと2秒以上押したときの設定を変えます。
お買い上げ時の設定はNavigationです。

All Folder：GROUPボタンを1回押したときはオールフォルダモードになり、2秒以上押したときはナビゲーションモードになります。

Navigation：GROUPボタンを1回押したときはナビゲーションモードになり、2秒以上押したときはオールフォルダモードになります。

USBに関する設定をする

USBメモリーに録音されているファイルの表示方法を選択したり、USBメモリーの再生方法などを設定することができます。

1

入力がUSBで停止中

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して設定したい項目を選ぶ

MULTI JOGダイヤルを回して設定したい項目を以下の中から選びます。

- Disc Name?（ディスクネーム）
- File Name?（ファイルネーム）
- Folder Name?（フォルダネーム）
- Hide Number?（ハイドナンバー）
- Bitrate?（ビットレート）

各項目の詳細については、下記「各設定について」をご覧ください。

2

前ページの手順*2*～*4*を行う

各設定について

Disc Name?（ディスク名）

USBメモリーのディスク名を表示するかどうかを設定します。設定内容は38ページと同様です。

File Name?（ファイル名）

USBメモリーの曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。設定内容は38ページと同様です。

Folder Name?（フォルダ名）

USBメモリーのフォルダ名をスクロール表示するかどうかを設定します。設定内容は38ページと同様です。

Hide Number?

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。
設定内容は39ページと同様です。

Bitrate?

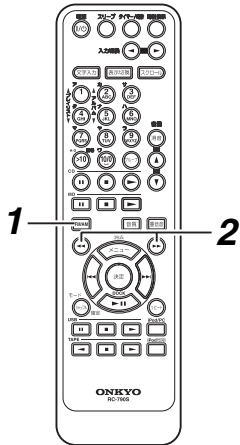
USBへの録音時のビットレートを選ぶことができます。お買い上げ時のビットレートの設定は128kbpsです。
以下の3種類の中から選ぶことができます。

●96kbps　●128kbps　●192kbps

FM/AM放送を聞く

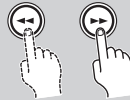
周波数を合わせて聞く（リモコン操作のみ）

放送局を受信するとチューンド表示（▶ ● ◀）が点灯します。

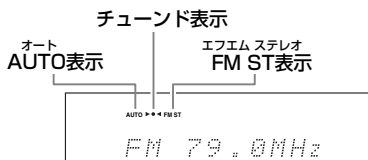
FM ステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

1

入力をFMまたはAMにする

FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選びます。

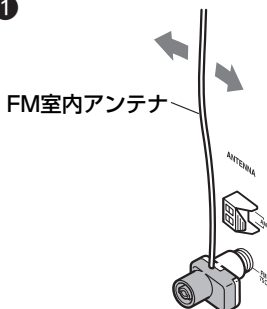
2

リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

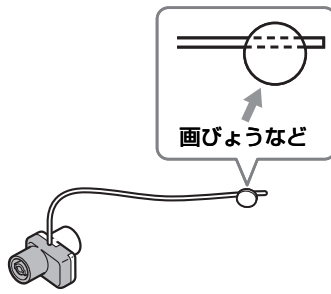
1回押すごとに周波数がFMでは0.1MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀◀または▶▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。

本体では操作できません。

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

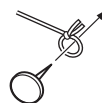
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

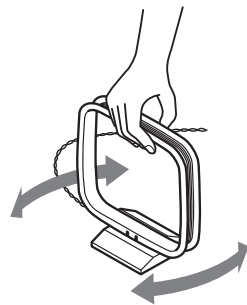
❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になる設置場所を見つけます。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント

アンテナの先がはずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になるようアンテナの位置を変えたり向きを調整します。

！ヒント

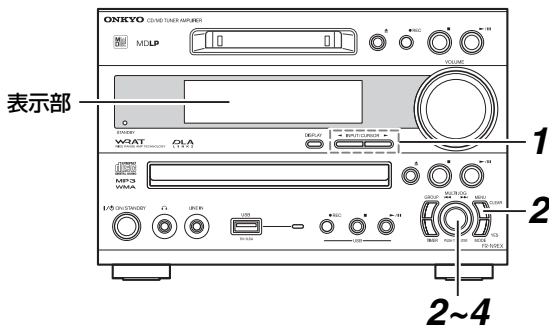
マンションなど鉄筋の建物の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところにアンテナを設置してください。

放送局を登録する

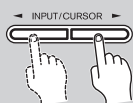
自動で登録する－オートプリセット－（FMのみの機能です）

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。AM局は自動で登録できませんので、42ページをご覧ください。

予 備 知 識

- FM の受信周波数は 76.0 ～ 90.0MHz です。
- すでに FM 局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

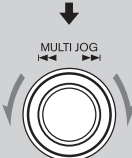
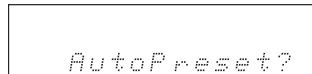
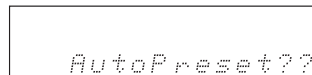
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞40ページ）

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞44ページ）

1 INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して「FM」を表示させる

- 受信バンドが「AM」になっている場合は、MULTI JOGダイヤルを押して「FM」を表示させてください。

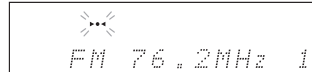
MULTI JOGダイヤルを押すたびにFMとAMが交互に切り換わります。

2 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「AutoPreset?」を表示させる

AutoPreset?

3 MULTI JOGダイヤルを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときはMENU/CLEARボタンを押してください。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

FM 76.2MHz 1

オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に最大20局まで登録していきます。

！ヒント

リモコンのFM/AMボタン、メニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

！ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

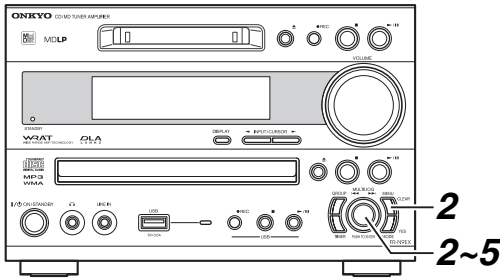
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞74ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞44ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞44ページ

放送局を登録する

1局ずつ登録する－プリセットライト－

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。(FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。)

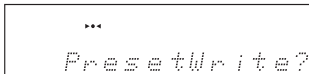
予備知識

- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

操作の前に
電源を入れてください。

1 登録したい放送局を受信する

40ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

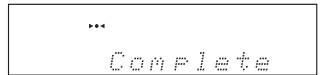
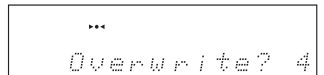
2 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Preset Write?」を表示させる

PresetWrite?

3 MULTI JOGダイヤルを押す

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはMENU/CLEARボタンを押します。

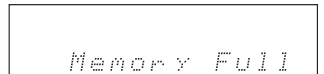
4 別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOGダイヤルを回す

5 MULTI JOGダイヤルを押して決定する

「Complete」(完了)と表示された後、放送局が選んだチャンネルに登録されます。

「Overwrite?」(書き換えますか?)と表示されたときは

選んだチャンネル番号は登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、MULTI JOGダイヤルを押すか、MODE/YESボタンを押します。
- 登録をやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから(☞44ページ)、再度登録してください。

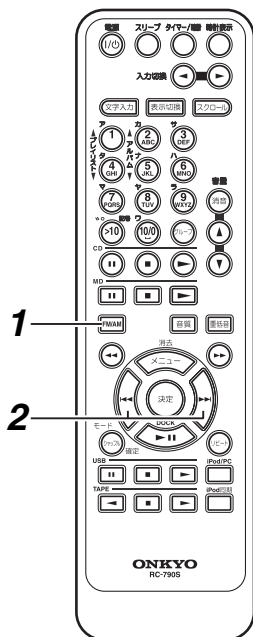
6 次を登録するときは、手順*1*～*5*をくり返す

!ヒント

リモコンのメニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

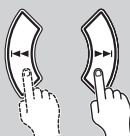
!ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞74ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞44ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞44ページ

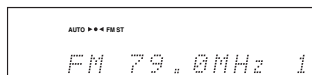
登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞41、42ページ）

操作の前に
電源を入れてください。

FM/AMボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。

AUTO FM ST
FM 89.9MHz 8

⏮/⏭ボタンを押して登録した放送局を選ぶ

⏮ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

AUTO FM ST
FM 79.0MHz 1

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

例）登録番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	>10 2 2

！ヒント

本体のMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを押してバンドを切り換えた後、MULTI JOGダイヤルを回して選ぶこともできます。

表示部の情報を切り換える

本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンまたはリモコンの表示切換ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM/AM周波数 ⟷ 放送局に付けた名前

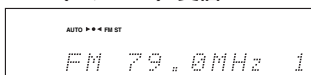
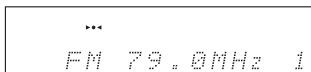
- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「登録した放送局に名前をつける」（☞74ページ）

FM放送を受信しにくいときは

AUTO（ステレオ）受信

AUTO FM ST
FM 79.0MHz 1

モノラル受信

FM 79.0MHz 1

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのモード/シャッフル/確定ボタンを押し、AUTO（オート）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）にもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

登録した放送局を編集する

コピーと削除の2つの基本機能を使って、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更、不要なチャンネルの削除などができます。

登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞74ページ）も同時にコピーされます。

1 FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.0MHzを選んだとき

FM 80.0MHz 4

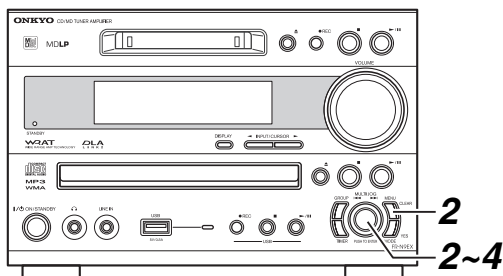
2 MENU（メニュー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット） Copy?（コピー?）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

FM 80.0MHz 6

チャンネルが点滅を始めるので、MULTI JOGダイヤルを回してコピー先のチャンネルを選びます。

4 MULTI JOGダイヤル押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、放送局が指定のチャンネルにコピーされます。

「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MULTI JOGダイヤルを押します。
- 書き換えをやめるときは、MENU（メニュー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

！ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

登録した放送局を削除する

1 FMまたはAMの削除するチャンネルを呼び出す

2 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回し「Preset（プリセット） Erase?（イレーズ?）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

「Erase（イレーズ） OK?」と再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

削除するときは、もう一度MULTI JOGダイヤルを押します。

登録した放送局が削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、登録した放送局が削除されます。

編集のヒント

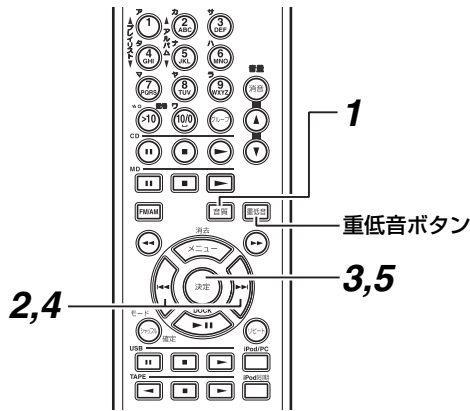
チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。

例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、

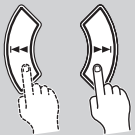
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。

という手順で行うことができます。

音質を調整する

低音/高音を調整する

1

音質ボタンを押して「Bass（バス）」をを表示させる

2

⏮/⏭ボタンを押して低音を調整する

お買い上げ時の設定は「0」ですが、−5から+5の間で1ステップずつ調整できます。

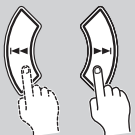
ご注意

S.Bass（スーパーバス） 2のときは、過度な低音増強でスピーカーに負担をかけないようBassは「+3」までしか上げられません。

3

決定ボタンを押して「Treble（トレブル）」表示にする

ご注意 約8秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

4

⏮/⏭ボタンを押して高音を調整する

お買い上げ時の設定は「0」ですが、−5から+5の間で1ステップずつ調整できます。

ご注意 約8秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

5

決定ボタンを押す

調整が終了し、元の表示に戻ります。

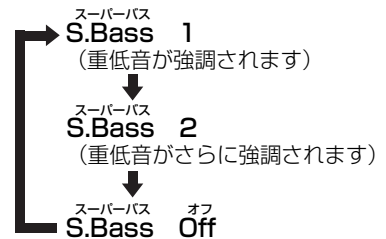
！ヒント

高音のみを調整するときは、音質ボタンを2回押した後、手順 ***4*** から操作してください。

重低音を強調する

重低音ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

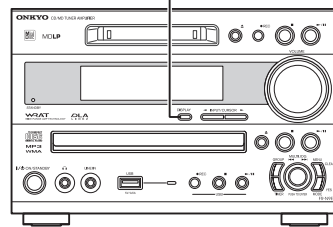
S.Bass（スーパーバス） 1
（重低音が強調されます）
↓
S.Bass（スーパーバス） 2
（重低音がさらに強調されます）
↓
S.Bass（スーパーバス） Off（オフ）

S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。

ご注意

Bassが「+4」または「+5」のときは、S.Bass 2 には設定できません。

表示の明るさを切り換える

本体

または

リモコン

本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンまたはリモコンの表示切換ボタンを2秒以上押す

現在の状態が3秒間表示されますので、その間に再度ボタンを押して切り換えます。ボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

→ Dimmer（ディマー） Off（オフ） → Dimmer 1 → Dimmer 2 →（Dimmer Offに戻る）

Dimmer（ディマー） 1のときは、VOLUME（ボリューム）インジケーターが消えます。
Dimmer 2のときは、VOLUMEインジケーターが消え、表示部が暗くなります。

MDの基礎知識

MDには再生専用と録音用の2種類があります。
カセットテープは巻き戻しておくと前回録音したものに上書きして録音されますが、MDの場合は以前に録音された曲の続きに録音されます。始めから録音したい場合は、すでに録音されているものを消去してから録音します。
録音したり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents（テーブル オブ コンテンツ））に書き込まれます。

TOC表示が点灯しているとき(録音中や名前をつけたときなど)
MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）
MDに情報を書き込んでいます。この状態のときは、電源プラグを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。停電になった場合は、TOCに書き込まれる前の記録内容は消去されます。

MDLPって？

従来のMDの音声圧縮方式ATRACの約2倍の圧縮効率を持つATRAC3を採用したMDの圧縮方式です。標準モード（SP）に対して、LP2で2倍、LP4で4倍の長時間録音ができます。

■ 録音モードと録音可能時間

録音モード ＼ ディスクの種類	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
SP(ステレオ録音)	約80分	約74分	約60分
LP2(ステレオ録音)	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
LP4(ステレオ録音)	約5時間20分	約4時間56分	約4時間
MONO（モノラル録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間

- LP2、LP4モードで録音したディスクは、LP2、LP4モードに対応していない機器で再生することはできません。
- ディスクには最大255トラック、最大99グループ録音することができます。文字は最大で約1700文字入力することができます。

グループ機能って？

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPで多くの曲が入っているディスクで使用すると便利です。(☞62ページ)

録音する

録音方法の種類

デジタルで録音された CD-R をデジタル録音することはできません。

CDダビング　**本機CDからMDにワンタッチで録音する**
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MDに曲番は自動でつきます。
- DLAリンク（自動で最適な録音レベルに調整する機能）のオン/オフが可能です。

CD高速ダビング　**上記のCDダビングを約1/4の時間で行います**
- DLAリンクは働きません。

USBダビング　**本機USBメモリーからMDにワンタッチで録音する**
- MDに曲番は自動でつきます。

シンクロ録音　**オンキヨー製外部機器からMDに録音する**
- レベルシンク（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベルはお好みに調整できます。

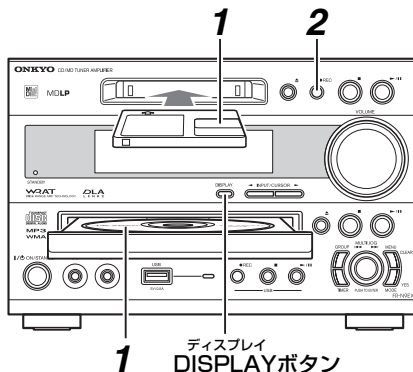
シグナル シンクロ録音　**その他の外部機器からMDに録音する**
- レベルシンク（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベルはお好みに調整できます。

こんな録音はどうするの？		この機能や設定を使うと便利です	
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	➡	CDダビング （CD高速ダビングもできます）	48ページ 49ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定CDダビング	50ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	50ページ
たくさんのシングルCDをMDに録音したい	➡	トラック指定CDダビング	50ページ
短時間で録音をすませたい	➡	CD高速ダビング	49ページ
USBメモリーからMDに録音したい	➡	USBダビング	50ページ
FM/AM放送を録音したい	➡	FM/AM放送をMDに録音する	51ページ
オンキヨー製カセットテープデッキやRIドックからMDに録音したい	➡	シンクロ録音	52ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	➡	シグナルシンクロ録音	53ページ
たくさんの曲を1枚のMDに入れたい	➡	録音モードを切り換える	58ページ
グループを作りながら録音をしたい	➡	MDグループ録音設定	58ページ
最後まで録音されない曲をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング設定	59ページ
CDの音量レベルのままでCDダビングしたい	➡	DLAリンクを切り換え、 CDダビングをする	59ページ 48ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する	60ページ
CDからMDにアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	60ページ 52ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える	61ページ

録音する

CDをMDに録音する（CDダビング）

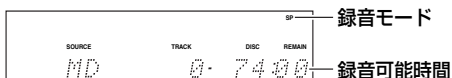
●ワンタッチデジタル録音です。
●曲番は自動でつきます。

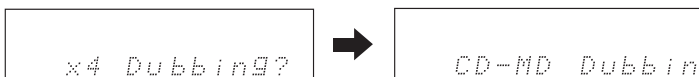
ご注意
• CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。
• MP3、WMAが記録されたCDの時は、DLAリンク機能が「オン」でもピークサーチして録音レベルの自動調整はできません。

1

CDとMDをセットし、入力を「CD」にする

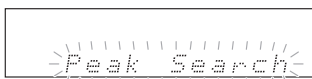
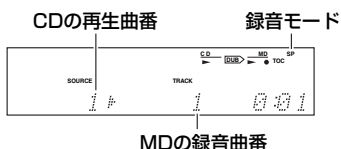
MDの録音可能な残り時間を確認するには
入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

! ヒント
録音モードを切り換えるには、58ページの「録音モードを切り換える」をご覧ください。

2

MD●REC（レック）ボタンを押す

表示部にCDの総曲数、総再生時間が表示された後、MD●RECボタンを押してください。
表示部に「CD Reading（リーディング）」と表示されている間はCDダビングできません。

"X4 Dubbing?" が2秒間表示されます。

"CD-MD Dubbing DLA Link On" または "CD-MD Dubbing DLA Link Off" がスクロールします。

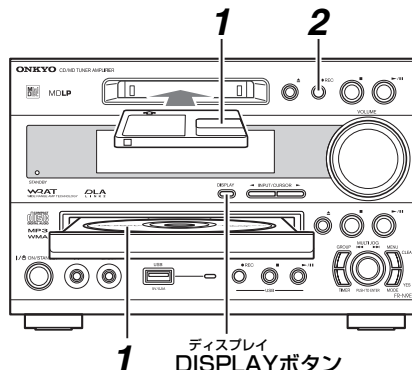
<DLAリンク>
CDはPeak Search（ピーク サーチ）（最大レベルの検出）を行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。（この機能をオンにするには。☞59ページ）

<録音開始>
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間と同じだけの時間がかかります。

<録音停止>
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

! ヒント
Peak Searchは最長で120秒かかることがあります。

CD ダビング中のご注意
►/II（プレイ/ポーズ）、▲（イジェクト）などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには
録音終了後、本体のMD►/IIボタンまたはリモコンのMD►（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

CDをMDに録音する（CD高速ダビング）

- デジタル録音を通常の約1/4の時間で行います。
- MP3、WMAが記録されたCDの時は、高速ダビングはできません。
- 曲番は自動でつきます。
- DLAリンクは働きません。
- CD高速ダビング中、音声は聞こえません。
- CDがメモリー再生、ランダム再生モードになっているときは、CD高速ダビングはできません。リピート再生は解除されます。
- CD高速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

1

CDとMDをセットし、入力を「CD」にする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、58ページの「録音モードを切り換える」をご覧ください。

2

MD●REC（レック）ボタンを2回押す

表示部にCDの総曲数、総再生時間が表示された後、MD●RECボタンを押してください。

表示部に「CD Reading（リーディング）」と表示されている間はCDダビングできません。

MD●REC（レック）ボタンは続けて3秒以内に押してください。

CD-MD×4 Dubbing　がスクロールします

＜録音開始＞
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間の約1/4の時間がかかります。

＜録音停止＞
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。

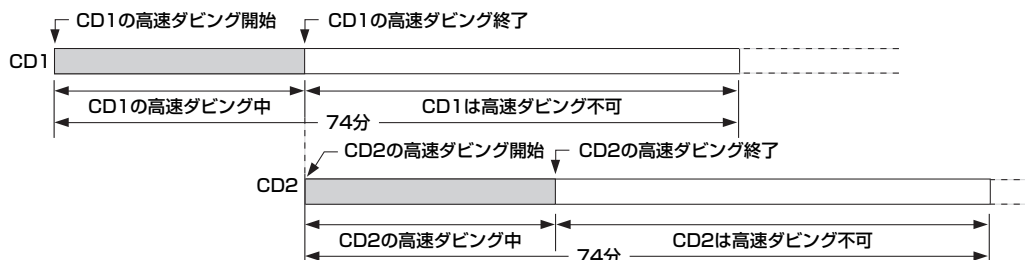
CD ダビング中のご注意

►/❚❚（プレイ/ポーズ）、▲（イジェクト）などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►（プレイ）ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

CD高速ダビングの制限について

CD高速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD高速ダビングをすることができません。CD高速ダビングをしようとすると“Time Protect（タイム プロテクト）”と表示され、そのCDがCD高速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例: “Wait（ウエイト） 42 min”）他のCDを使用する場合は、続けて録音することができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶CDとMDをセットし、CD►/IIボタンを押して再生を始める

❷CD鑑賞中に録音したい曲があったら、MD●RECボタンを押す

DLAリンク機能が「オン」のときは、ピークサーチを行い、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。（DLAリンク設定を「オン」にするには、59ページをご覧ください。）
録音にはCDのトラックと同じだけの時間がかかります。
その曲のダビングが終わるとMDは停止し、CDも停止します。

ご注意

- CD高速ダビングはできません。
- CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力を「CD」にしたあとメモリー再生の設定をする

33ページの設定を行います。
（再生はしないでください。再生すると、トラック指定CDダビングになります。）

❷MD●RECボタンを押す

DLAリンク機能が「オン」のときは、ピークサーチを行い、その後録音が始まります。（DLAリンク設定を「オン」にするには、59ページをご覧ください。）

ご注意

CD 高速ダビングはできません。

USBメモリーをMDに録音する（USBダビング）

- 曲番は自動でつきます。
- USBメモリーがランダム再生モードになっているときは、USBダビングはできません。

❶USBメモリーとMDをセットし、入力を「USB」にする

表示部に「USB Reading」と表示されている間に、次の操作をしないでください。

❷MD●RECボタンを押す

表示部に「USB-MD Dubbing」がスクロールし、録音が始まります。
USBメモリーの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると録音が止まります。
録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

ご注意

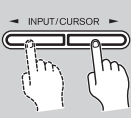
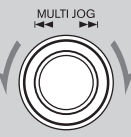
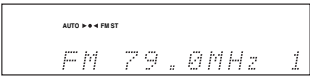
- ►/II、▲などのボタンは働きません。
- USBダビングは等速録音になります。

！ヒント

今聞いている曲のみを録音するには

USBメモリーとMDをセットし、USB►/IIボタンを押して再生を始め、録音したい曲の再生中にMD●RECボタンを押します。聞いていた曲の頭から録音が始まります。その曲のダビングが終わるとMDは停止し、USBメモリーの再生も停止します。

好きな曲だけをダビングするには

USBメモリーとMDをセットし、入力を「USB」にした後、36ページ手順*1*、*2* の方法でメモリー再生の設定をします。
次にMD●RECボタンを押します。

FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞58ページ）を切り換えて使うと便利です。

1 MDをセットする

2 INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して、入力を「FM」または「AM」にする

「FM」と「AM」を切り換えるには

MULTI JOGダイヤルを押すたびに、「FM」と「AM」が交互に切り換わります。

3 MULTI JOGダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ

！ヒント

録音モードを切り換えるには、58ページの「録音モードを切り換える」をご覧ください。

4 MD●RECボタンを押して録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

録音レベルを調節するときは

☞60ページ

レベルシンクのオン、オフを切り換えるときは

☞「曲番をつける－レベルシンクを切り換える」（61ページ）

5 MD▶/❚❚ボタンを押して録音を始める

録音モード

録音中の曲番

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。

途中で止めるときは、MD■ボタンを押します。

録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMD▶ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

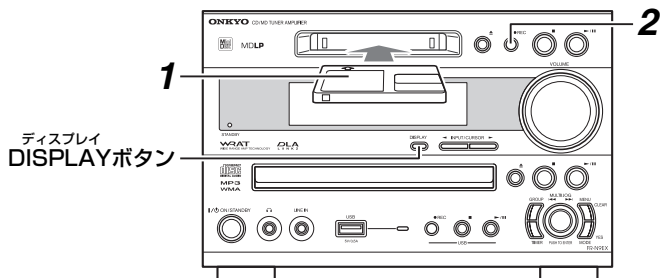
一時停止するには

MD▶/❚❚ボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところでMD●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

オンキヨー製品からMDに録音する（シンクロ録音）

● オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。

ここではカセットテープデッキから
本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

1

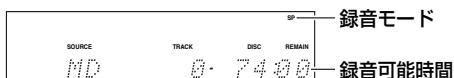
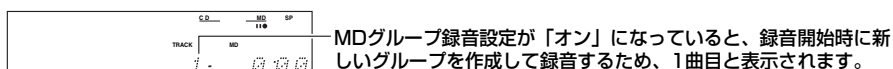
録音するソース（接続したカセットテープデッキのテープ）とMDをセットし、入力を「TAPE」にする

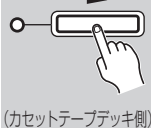
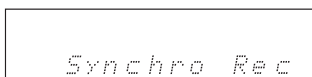
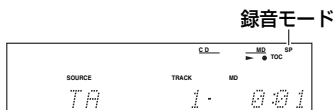
MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

2

MD●REC（レック）ボタンを押して録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

3

録音するソース(接続したカセットテープデッキ)を再生する

(カセットテープデッキ側)

録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープデッキ）を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。

ただし、MD■（ストップ）ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところでMD●REC（レック）ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音結果を確かめるには

☞51ページの同項目

！ヒント

別売のオンキヨー製カセットテープデッキを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

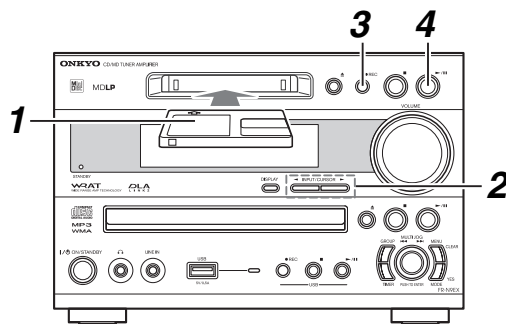
CDからカセットテープデッキへのシンクロ録音
MDからカセットテープデッキへのシンクロ録音

● CDやMDからカセットテープデッキへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。

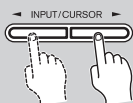
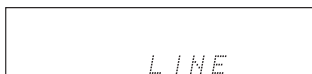
録音する

外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器からMDに録音します。

デジタル録音について
本機にはサンプリング・レート・コンバーターが搭載されていますので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DATや衛星放送など）からのデジタル信号（32kHzや48kHz）も録音することができます。
デジタル録音されたMDやCD-RをMDにデジタル録音することはできません。

1 MDをセットする

2 INPUT（インプット）◀/▶ボタンを（くり返し）押して録音する外部機器を選ぶ

INPUT/CURSOR

DOCK（ドック）、TAPE（テープ）、LINE（ライン）、DIGITAL（デジタル）のいずれかを選びます。

！ヒント
名称を変えると、その名称が表示されます。（☞85ページ）

3 MD●REC（レック）ボタンを押して録音待機状態にする

！ヒント
外部デジタル入力の場合、「D.In Unlock（デジタルイン アンロック）」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

4 MD▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して録音を始める

（MD側）

CD MD SP SOURCE TRACK MD
LI 1- 0:01

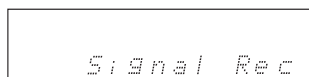
5 外部機器の再生を始める

MDの最後まで録音すると自動的に停止します。
途中で止めるときは、MD■（ストップ）ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶左項の手順1 ～3 を行う
通常の録音待機状態になっています。

❷もう一度MD●REC（レック）ボタンを押す

Signal Rec

「Signal Rec（シグナル レック）」が表示された後、シグナルシンクロ録音待機状態となり、「Signal Wait（シグナル ウェイト）」が点滅します。

❸外部機器の再生を始める
外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。
（☞左項の手順 4 を行う必要はありません。）

録音レベルを調節するときは

☞60ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞61ページの同項目。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところでMD●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

MD▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

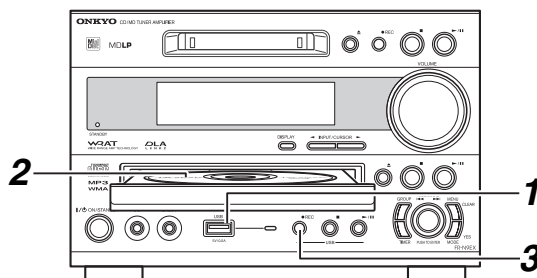
録音結果を確かめるときは

録音終了後、本体のMD▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMD▶ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

USBメモリーに録音する

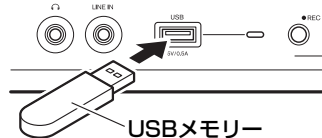
- MP3が記録されたCDからUSBメモリーへの録音時は、ID3タグも同時に録音されます。またWMAが記録されたCDからの録音時はメタタグも同時に録音されます。それ以外のUSBへの録音時は、ID3タグは記録されません。
- 音楽CDからMDとUSBメモリーに同時録音することはできますが、MP3、WMAが記録されたCDは同時録音することができません。
- 音楽CDとMDからUSBメモリーに同時録音する場合は、通常録音となります。（5分の曲を録音する場合は、5分かかります。CD高速ダビングはできません。）
- MP3、WMAが記録されたCDを録音する場合は、高速で録音（コピー）します。
- 以下の機能はMD録音時にのみ働き、USBメモリー録音時には働きません。
  「シンクロ録音」、「シグナルシンクロ録音」、「フェードアウトダビング」、「DLAリンク」、「レベルシンク」

CD（音楽CD、MP3、WMA）からの1ディスク録音

MP3、WMAが記録されたCDからの録音時は、音声を聞くことはできません。

1

USBメモリーを接続する

USBメモリーを本体前面のUSB端子に接続します。

2

録音するCDをディスクトレイにセットし、入力を「CD」にする

3

USB●REC（レック）ボタンを押す

表示部にCDの総曲数と総再生時間が表示された後、USB●REC（レック）ボタンを押してください。

表示部に「CD Reading（リーディング）」と表示されている間は、録音を始めることはできません。

CD-USB Dubbing　がスクロールします

＜録音開始＞
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間と同じ時間がかかります。

＜録音停止＞
CDの再生が終わるか、USBの最後まで録音すると、録音が止まります。

！ヒント

- CDをプログラムしているときに録音すると、プログラムされた曲だけを録音することができます。
- MP3、WMAが記録されたCDを録音する場合は、高速で録音します。

ご注意

- MP3、WMAが記録されたCDからの録音時は再生音が聞こえません。
- 録音中は、MP3が記録されたCDのID3タグやWMAが記録されたCDのメタタグは表示されません。
- 「Writing（ライティング） USB」が表示されている間は、電源コードは抜かないでください。
- USBメモリーが書き込み禁止や残容量がないとき、あるいは1フォルダに256ファイルが録音されているときは、「USB Full（フル）」と表示されます。
- 「LEVEL（レベル） SYNC（シンク）」を「オン」にしても、無音部でファイルは分かれません。
- セキュリティ機能付きのUSBメモリーは使用できません。（☞93ページ）
- USBメモリーにはいろいろな種類、仕様があり、すべてのUSBメモリーで動作を完全に保証することはできません。（☞93ページ）

録音する

CD（音楽CD、MP3、WMA）からの1トラック録音

1 USBメモリーを接続する

2 録音するCDをディスクトレイにセットし、入力を「CD」にする

3 録音したい曲を選び、再生する

MULTI JOGダイヤルを回して録音したい曲を選び、MULTI JOGダイヤルを押して再生します。

4 USB●RECボタンを押す

選んだ曲の録音が始まります。

5 録音を止める

USB■ボタンを押すと、録音が停止します。

CD（MP3、WMA）からの1フォルダ録音

1 上記「CD（音楽CD、MP3、WMA）からの1トラック録音」の手順*1*、*2* を行う

2 録音したいフォルダを選ぶ

MODE/YESボタンを押して「1GR」を選び、MULTI JOGダイヤルを回してフォルダを選びます。

3 USB●RECボタンを押す

選んだフォルダの録音が始まります。

4 録音を止める

USB■ボタンを押すと、録音が停止します。

MDからの録音

1 USBメモリーを接続する

2 録音するMDをセットし、入力を「MD」にする

3 USB●RECボタンを押す

MDの録音が始まります。
- 最後の曲の再生が終わると録音が停止します。

！ヒント
- MDをプログラムしているときに録音すると、プログラムされた曲だけを録音することができます。
- 曲名は、記録されません。

4 録音を止める

USB■ボタンを押すと、録音が停止します。

チューナー、外部機器からの録音

1 USBメモリーを接続する

2 INPUT◀/▶ボタンで録音したい入力に切り換える

3 USB●RECボタンを押す

USBインジケーターが赤く点滅し、録音待機状態となります。
外部機器を選択している場合は、ここで外部機器の再生を始めます。

4 USB▶/❚❚ボタンを押す

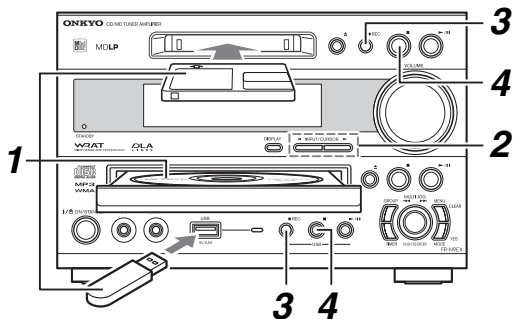
録音が始まります。
USBインジケーターが赤く点灯します。

ご注意
ボタンを押してから、実際に録音が始まるまで数秒間かかります。

5 録音を止める

USB■ボタンを押すと、録音が停止します。

録音する

音楽CDからMDとUSBメモリーに同時録音する

1

CDおよびMD、USBメモリーをそれぞれセットする

再生するCDはディスクトレイに、録音するMDはMD挿入口に、USBメモリーはUSB端子にそれぞれセットします。

2

◄ INPUT/CURSOR ►

入力をCDにする

INPUT（インプット）◀/▶ボタンを押して、入力を「CD」にします。

3

● REC

（USB側）

● REC

（MD側）

USB●REC（レック）ボタンと、MD●RECボタンを同時に押す

MDとUSBメモリーへの同時録音が始まります。

4

（MD側）（USB側）

録音を止める

MD■（ストップ）ボタン、USB■（ストップ）ボタンを押すと、録音が停止します。

- 最後の曲の再生が終わると、録音が停止します。

ご注意

- 同時に録音できるのは音楽CDのみです。MP3、WMAが記録されたCDからは同時録音はできません。
- 高速ダビングはできません。

USB録音時に作成されるフォルダ、ファイルは次のようになります。
（001は1番から始まる3桁の連番です。）

- ルートにRECORDフォルダができ、録音されたファイルはこの中にソースごとのフォルダに分かれて入ります。
- RECORDフォルダの中に次のフォルダができます。録音開始するごとに新たなフォルダができ、録音されたファイルはその中に入ります。
  CD：CDREC001　**MD**：MDREC001
  FM：FMREC001　**AM**：AMREC001
  その他：EXREC001
- ファイル名は、入力名_T001.mp3となります。
  （例）CD_T001.mp3
  なお、MP3、WMAディスクから録音した場合は、[元のファイル名] 001.mp3または [元のファイル名] 001.wmaとなります（元のファイル名は25文字まで）が、ファイル名に英数字以外が含まれているとFile_001.mp3またはFile_001.wmaとなります。

ファイルの再生順序はFAT順になります。
そのため、必ずしも録音順に再生されるとは限りません。

■USBメモリーの録音可能時間

ビットレート / USBメモリー容量	96kbps	128kbps	192kbps
256MB	約5時間20分	約4時間	約2時間40分
512MB	約10時間40分	約8時間	約5時間20分
1GB	約21時間	約16時間	約10時間30分
2GB	約42時間	約32時間	約21時間
4GB	約84時間	約64時間	約42時間

録音する

録音時のビットレートを変更するには

1　入力を「USB」にする

INPUT◀/▶ボタンを押して、入力を「USB」にします。

2　MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Bitrate?」を選ぶ

3　MULTI JOGダイヤルを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して録音時のビットレートを選ぶ

「96kbps」、「128kbps」または「192kbps」のいずれかのビットレートを選びます。

4　MULTI JOGダイヤルを押して決定する

「Complete」（完了）と表示された後、選んだビットレートになります。

ご注意　MP3、WMAが記録されたCDからの録音時は、ビットレートの変更はできません。元のファイルと同じビットレートになります。

USBメモリーに録音したファイルを消去するには

1　MULTI JOGダイヤルを回して消去したいファイルを選ぶ

2　MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「＊Tr Erase?」を選ぶ

＊には、選ばれたファイルの番号が表示されます。

3　MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだファイルが消去されます。

ご注意　フォルダ内の全てのファイルを消去すると、そのフォルダは認識されなくなります。フォルダが不要な場合は、ファイルを消去せず、「USBメモリーに録音したフォルダを消去するには」を行ってください。

録音レベルを調整する

1　録音待機中にMENU/CLEARボタンを押して、「Rec Level?」を選ぶ

2　MULTI JOGダイヤルを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して録音レベルを調整する

レベルメーターを見ながら、MULTI JOGダイヤルを回して録音レベルを調整します。

調節できる範囲は−∞dBから+16.0dBです。−12.0dBから+16.0dBの範囲では1.0dB間隔で、−12.0dBから−15.0dBは3.0dB間隔、−15dBから−60.0dBは5.0dB間隔で調整できます。

3　MULTI JOGダイヤルを押して、決定する

「Complete」（完了）と表示された後、選んだ録音レベルになります。

ご注意

- USBはTAPE、VIDEO、FM、AM録音時に録音レベルの調整をすることができます。音楽CD、MD録音時は調整できません。音楽CD、MDと同じ録音レベルになります。
- TAPE、VIDEO、FM、AMの録音レベルは、MD、USBメモリーの両方共に同時に変更されます。MD、USBメモリーの録音レベルは同じになります。

USBメモリーに録音したフォルダを消去するには

1　GROUPボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して消去したいフォルダを選ぶ

2　MENU/CLEARボタンを押して「＊Erase?」を選ぶ

＊には、選ばれたフォルダの番号が表示されます。

3　MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため「＊Erase??」（本当に消去していいですか？）が表示されます。良ければもう一度MULTI JOGダイヤルを押します。「Complete」（完了）と表示された後、選んだフォルダが消去されます。

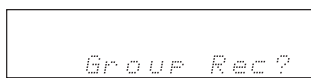
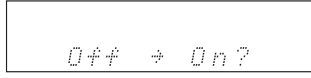
ご注意

MDのように名前入力、Move、Divideなどはできません。

MDへの録音の設定

録音モードを切り換える

録音を開始する前に設定します。
録音モードによって録音できる時間が異なります。
1 曲ずつ設定できます。

1

入力がMDで停止中

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Mode?」を表示させる

Rec Mode?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

現在の設定が表示されます。

Stereo(SP)

3

MULTI JOGダイヤルを回して録音モードを切り換える

MULTI JOGダイヤルを回すと、以下のように録音モードが切り換わります。

Stereo(SP)：
通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。

Stereo(LP2)：
通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「Stereo(SP)」の2倍になります。

Stereo(LP4)：
通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「Stereo(SP)」の4倍になります。

Mono：
モノラル録音モードです。
録音可能時間は「Stereo(SP)」の2倍になります。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、録音モードが切り換わります。

ご注意

- 「LP2」、「LP4」の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載機器以外では再生できません。
- 音質を重視される場合は、「SP」モードで録音することをおすすめします。

MDグループ録音設定

録音を開始する前に設定します。
録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。（トラック指定CDダビング時は1曲ずつダビングするため、グループになりません。）

1

入力がMDで停止中

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Group Rec?」を表示させる

Group Rec?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が左側に表示されます。この場合は「Off→On ?」でグループ録音モードを「オン」にしますか？の意味です。

On ：グループ録音モードが働きます。複数の曲をひとまとまりにして録音します。
Off ：グループ録音モードは働きません。

3

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

オンになったときは「Gr. Rec On」が、オフになったときは「Gr. Rec Off」が表示されます。

- この設定を途中でやめたいときは、MENU/CLEARボタンを押します。
- この設定でCDダビングや録音をすると、1つのグループにして録音します。シンクロ録音やシグナルシンクロ録音では、録音を開始してからMD ■ボタンを押すまでを1つのグループにして録音します。

！ヒント

- 録音中にGROUPボタンを押すと、現在のグループ録音設定が表示されます。
- リモコンのメニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

MD グループ機能については、62 ページをご覧ください。

フェードアウトダビング設定

録音を開始する前に設定します。
この機能を「On」にして、CDダビング、トラック指定CDダビングをすると、ディスクがいっぱいになって最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。（MP3、WMAディスクやCD高速ダビング時はできません。）

入力がMDで停止中

1 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Fade Dub?」を表示させる

Fade Dub?

2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

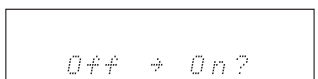
現在の設定が左側に表示されます。この場合は「Off→On ?」でフェードアウトモードを「オン」にしますか？の意味です。

3 MULTI JOGダイヤルを押して決定する

オンになったときは「Fade Dub On」が、オフになったときは「Fade Dub Off」が表示されます。

- この設定を途中でやめたいときは、MENU/CLEARボタンを押します。
- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、フェードアウトダビングになります。

！ヒント

- CDダビング中にMD●RECボタンを押すと、現在のフェードアウトダビング設定が表示されます。
- リモコンのメニュー /消去ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

ご注意

MDがフェードアウト中もスピーカーからの再生音は小さくなりません。フェードアウトが終わり、MDの録音が止まるとCDの再生も止まります。

DLAリンク設定

DLAリンクとは、CDダビング時に自動で録音レベルを調整する機能です。小さな音が多く含まれている楽曲は、再生するときに音量を調整しなければならないことがあります。再生するときに同じボリューム位置でお楽しみいただけるよう、CDダビングをする前に高速でピークサーチを行い、録音レベルを調整しています。

クラシック音楽に見られるように、小さな音のあいだに瞬間的に大きな音が含まれるような音源の場合は、ピークサーチしにくい場合がありますので、DLAリンク設定を「オフ」にして録音することをおすすめします。

入力がCDで停止中

1 MENU/CLEARボタンを押して「DLA Link?」を表示させる

DLA Link?

2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

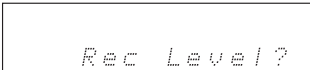
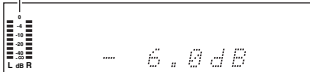
現在の設定が左側に表示されます。初期設定は「Off」になっています。この場合は「Off→On ?」でDLAリンクを「オン」にしますか？の意味です。

3 MULTI JOGダイヤルを押して決定する

オンになったときは「DLA Link On」が、オフになったときは「DLA Link Off」が表示されます。

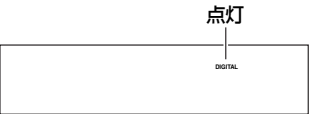
- この設定を途中でやめたいときは、MENU/CLEARボタンを押します。
- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、DLAリンクが働きます。
- CD高速ダビング時は「On」の設定でもDLAリンクは働きません。

！ヒント

リモコンのメニュー /消去ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

MDへの録音の設定

録音レベルを調整する

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。

録音するソースを再生中、MD●RECボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。
録音レベルの調整はチューナー（FM/AM)、VIDEO、TAPE、LINE、DIGITALでそれぞれ別々に設定することができます。

- ここで調整したレベルは記憶され、次回録音するときも、同じレベルで録音されます。

MDが録音待機中

1

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Level?」（録音レベル）を表示させる

Rec Level?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

3

MULTI JOGダイヤルを回して録音レベル(Rec Level)を調節する

レベル表示

– 6.0dB

調節できる範囲は–∞dBから+16.0dBです。–12.0dBから+16.0dBの範囲では1.0dB間隔で、–12.0dBから–15.0dBは3.0dB間隔、–15dBから–60.0dBは5.0dB間隔で調整できます。

- アナログ録音をするときは、入力レベルが一番高いときに、レベル表示の–4dBが時々点灯するように調整します。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのメニュー /消去ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

デジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。ディスクを入れてから設定します。

入力がCDで停止中

1

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Signal?」を表示させる

Rec Signal?

！ヒント

CD表示のときに“DIGITAL”が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

点灯

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Dig → Ana?

現在の設定が表示されます。この場合は「Dig→Ana?」でアナログ入力録音にしますか？の意味です。

3

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

この設定を途中で止めたいときは、MENU/CLEARボタンを押します。

！ヒント

リモコンのメニュー /消去ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

ご注意

- CDを取り出したりスタンバイ状態にすると、デジタル入力録音に戻ります。
- この設定は、CDからMDへの録音信号を設定するものです。CD、DIGITAL以外からMDへの録音やUSBへの録音は、常にアナログ録音になります。

MDへの録音の設定

曲番をつける－レベルシンクを切り換える

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短すぎるとつかないことがあります。）
- CDのデジタル録音のときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所でMD●RECボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が60秒以上続いた場合、自動的に録音を停止します。
- LEVEL-SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにするとLEVEL-SYNC表示は消えます。）
- ラジオやレコードを録音するときで、曲番がつきすぎる場合は、「Off」にしてください。

1

入力がMDで停止中

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Level Sync?」を表示させる

Level Sync?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

現在の設定が左側に表示されます。
この場合は、「On→Off?」でレベルシンクを「オフ」にしますか？の意味です。

3

MULTI JOG

MULTI JOGダイヤルを押す

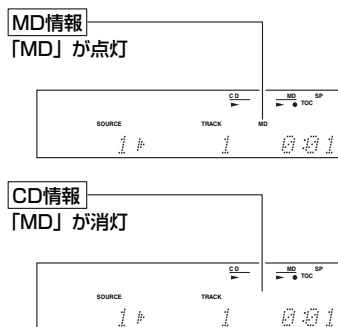
オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。
この設定を途中で止めたいときは、MENU/CLEARボタンを押します。

！ヒント

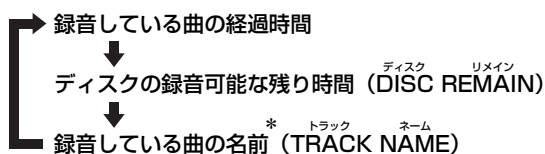
リモコンのメニュー /消去ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

録音中に表示を切り換える

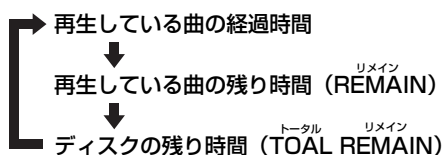
CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。

- INPUT◀/▶ ボタンを押すと、CDとMDの表示切り換えができます。

- CD/MD表示切り換え後、DISPLAYボタンを押すと、以下のように切り換わります。

MD情報のとき

録音している曲の経過時間
↓
ディスクの録音可能な残り時間（DISC REMAIN）
↓
録音している曲の名前*（TRACK NAME）

※ 名前がついていないときは表示されません。
☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（74ページ）

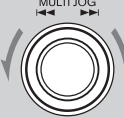
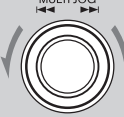
CD情報のとき

再生している曲の経過時間
↓
再生している曲の残り時間（REMAIN）
↓
ディスクの残り時間（TOAL REMAIN）

- CD（MP3、WMA）情報のときは、28ページをご覧ください。

MDグループ機能

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目〜15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

曲番について

グループの中で1曲目から順番につきます。グループに入っていない曲は総曲数の表示になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	11	12
グループ 1					グループ 2						

グループの中の曲を選ぶ

■本体で選ぶ

入力がMDで停止中

1 GROUP(グループ)ボタンを押す

グループ番号が点滅します。

2 MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回してグループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3 GROUPボタンを押す

グループ番号の点滅が止まります。

4 MULTI JOGダイヤルを回してグループの中の曲を選ぶ

■リモコンで選ぶ

1 グループボタンを押す

2 ⏮/⏭ボタンでグループを選ぶ

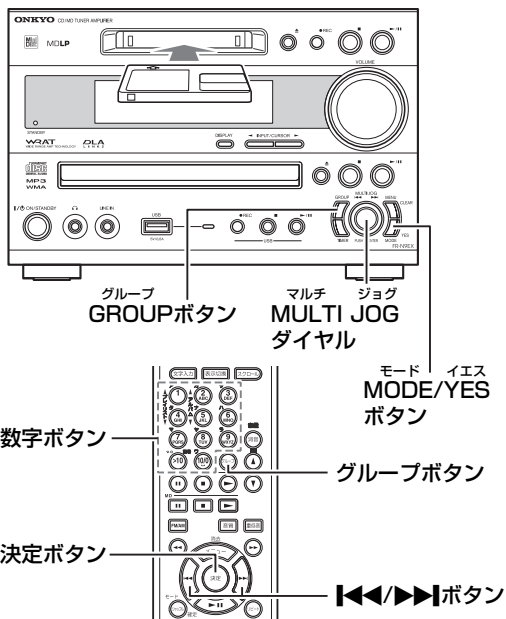
3 グループボタンを押す

グループ番号の点滅が止まります。

4 ⏮/⏭ボタンでグループの中の曲を選ぶ

MDグループ機能

MDグループを再生する

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
（☞64ページ）

MDグループ再生

選択したグループから最後までを再生します。

1 入力がMDで停止中

GROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して再生したいグループを選ぶ

3

MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンのグループボタン、◀◀/▶▶ボタンと決定ボタンまたは数字ボタンでも操作することができます。

MD1グループ再生

選択したグループのみ再生します。

1 入力がMDで停止中

GROUPボタンを押す

グループ番号が点滅します。

2

MULTI JOGダイヤルを回してグループを選ぶ

3

MODE/YESボタンを（くり返し）押して「1GR」モードを選ぶ

4

MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

！ヒント

リモコンのグループボタン、◀◀/▶▶ボタン、決定ボタンまたはMD▶ボタンでも操作することができます。

MDグループスキップ

再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1

再生中にGROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回してグループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンのグループボタン、◀◀/▶▶ボタンと決定ボタンまたは数字ボタンでも操作することができます。

ご注意

- MD1グループ再生中は、操作できません。
- 「1GR」、「MEM」、「RDM」インジケーターが点灯しているときは、操作できません。

MDグループ機能

MDグループを作成/解除する

1GR、MEM、RDMが点灯していると編集できません。通常再生モード（表示を消灯）にしてください。

グループセット

グループに入っていない複数の曲をまとめて新規のグループに入れます。

入力がMDで停止中

1 MULTI JOGダイヤルを回してグループに入れる最初の曲を選ぶ

2 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. Set?」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回してグループに入れる最後の曲を選ぶ

！ヒント

連続した曲（Tr）のみの選択になります。
離れた曲（Tr）は、Move（☞67ページ）やグループイン（☞右項）機能を使用してください。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、グループが作成されます。

！ヒント

リモコンのメニュー/消去ボタン、
⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

グループイン

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

入力がMDで停止中

1 MULTI JOGダイヤルを回してグループに入れる曲を選ぶ

2 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. In?」を表示させる

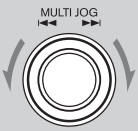
3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回してどこのグループに入れるかを選ぶ

5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだグループの最後に入ります。

！ヒント

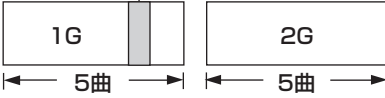
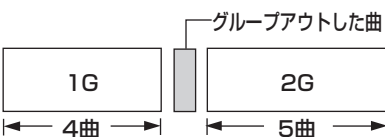
リモコンのメニュー消去ボタン、
⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

MDグループ機能

グループアウト

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

入力がMDで停止中

1 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回してグループから外す曲を選ぶ

2 MENU/CLEAR（メニュー/クリア）ボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G.Out?（トラックグループアウト）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、選んだ曲がグループから外れます。

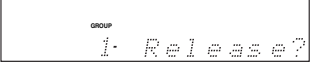
！ヒント

リモコンのメニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

グループの解除

選んだグループを解除します。

入力がMDで停止中

1 GROUP（グループ）ボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して解除するグループを選ぶ

3 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Release?（リリース）」を表示させる

GROUP
1 Release?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだグループが解除されます。

！ヒント

リモコンのメニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

MDグループを編集/消去する

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

編集の組み合わせ

離れた2つのグループをつなぐ
（G.Move＋G.Combine）
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。
TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM、RDM、または1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モード（表示を消灯）にしてください。

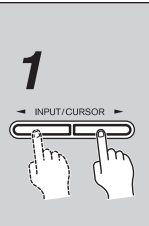
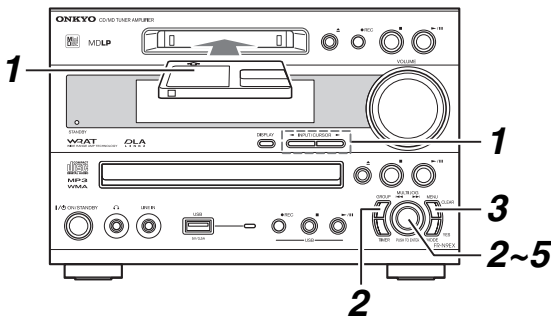
選択したグループに含まれる曲をすべて消す－G.Erase

途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOG

GROUPボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して消すグループを選ぶ

選択したグループが点滅します。

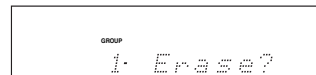
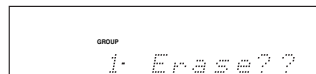
3

MULTI JOG

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?」を表示させる

4

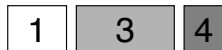
MULTI JOGダイヤルを押す

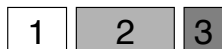
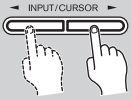
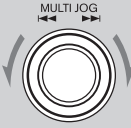
GROUP
1· Erase??

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、グループ内の曲がすべて消されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの削除

グループ番号のふり直し

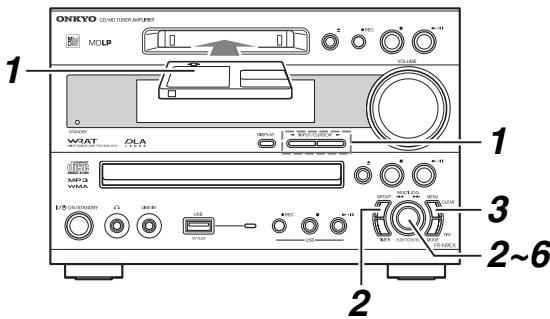
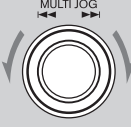
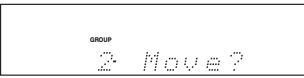
！ヒント

リモコンのグループボタン、⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

グループを移動する－G.Move

途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中

MDをセットして、入力をMDにする

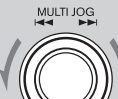
2

GROUPボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

3

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示させる

4

MULTI JOGダイヤルを押す

2G→1G?

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

6

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、指定したグループが移動します。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの移動

グループ番号のふり直し

1	2	3	4	5

！ヒント

リモコンのグループボタン、⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

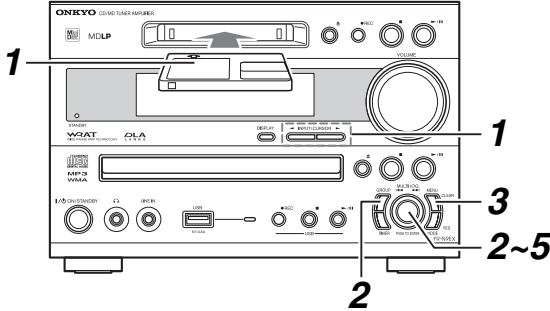
グループをつなぐ－ G.Combine

●前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
●途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中

MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUPボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

選んだグループが1つ前のグループとつながります。そのため、先頭のグループを選ぶことはできません。

3

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Combine?」を表示させる

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、グループがつながります。
グループ番号は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンのメニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

MDを編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase（オール イレーズ）
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。(BLANK DISC（ブランク ディスク）になります。)

曲を消去する－Erase（イレーズ）
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move（ムーブ）
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide（ディバイド）
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine（コンバイン）
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
(Divide + Erase)
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
(Move + Combine)
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM（メモリー）、RDM（ランダム）、または1GR（グループ）表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モード（表示を消灯）にしてください。
- グループ作成されたMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

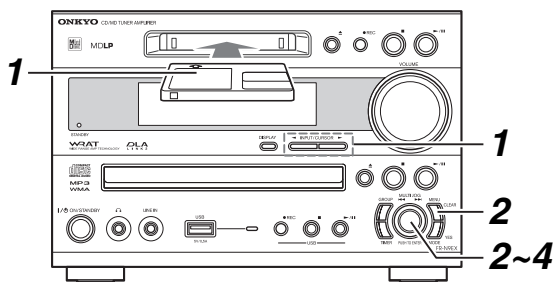
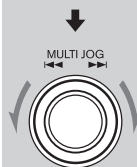
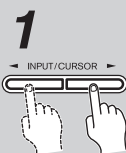
全曲消去する－ All Erase（オール イレーズ）

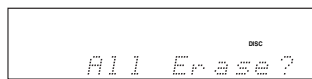
途中で中止するときは、MD■（ストップ）ボタンを押します。

1

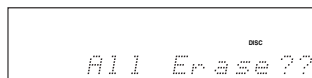
入力がMDで停止中

MDをセットして、入力をMDにする

2

MENU（メニュー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して「All Erase?（オール イレーズ？）」（すべての曲を消しますか?）を表示させる

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため、「All Erase??（オール イレーズ??）」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

全曲が消去され、「Complete（コンプリート）」(完了) と表示されます。その後、「MD Blank Disc（ブランク ディスク）」と表示されます。

！ヒント

リモコンのメニュー/消去ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

MDを編集/消去する

1曲を選んで消す－Tr Erase

途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 MULTI JOGダイヤルを回して消す曲を選ぶ

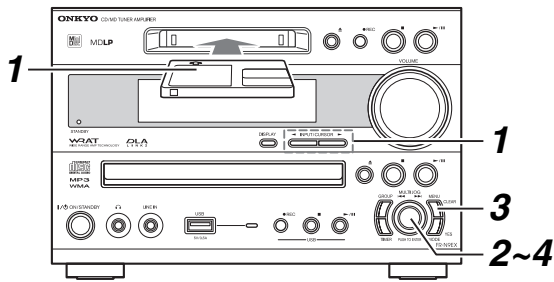
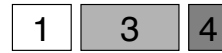
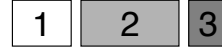
3 MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Tr Erase?」を表示させる

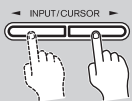
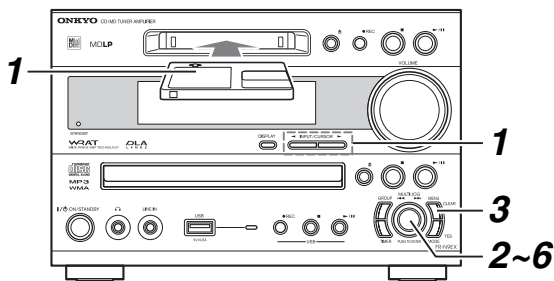
4 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだ1曲が消去されます。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

曲を移動する－ Tr Move

途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中/一時停止中

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

3

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Tr Move?」を表示させる

4

MULTI JOGダイヤルを押す

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を選ぶ

6

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだ曲が移動します。
曲番は新たにふり直されます。

- グループに入っている曲はグループ内でしか移動できません。他のグループに移動したい場合は、一度グループアウト機能でグループから出してから、新しいグループに移動します。
- グループに入っていない曲はグループの中に移動することができます。
- 曲を移動すると、曲順が入れ換わります。

！ヒント

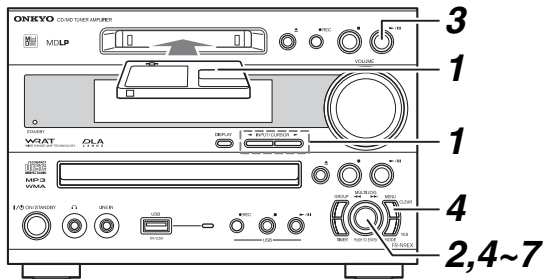
リモコンの⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

グループに入っていない10Trを4Trに移動した場合

10Trがグループ1の4Trになり、元の4Trは5Trに変わります。

MDを編集/消去する

曲を分ける－ Tr Divide

●曲名がついているとき（☞74ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
●途中で中止するときは、MD■ボタンを押します。

1

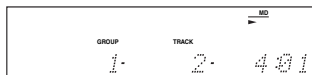
入力がMDで再生中/一時停止中

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回して分ける曲を選び、MULTI JOGダイヤルを押す

分ける曲が再生されます。

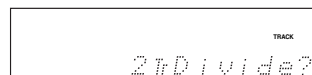
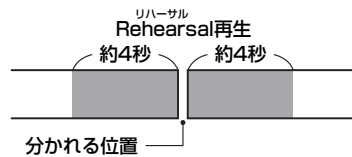
3

分けたいところでMD►/❚❚ボタンを押す

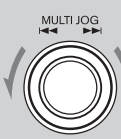
一時停止になります。
リモコンの◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

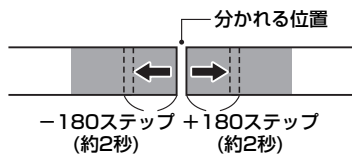
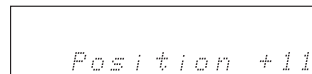
（MD側）

4

MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Tr Divide?」を表示させる

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（この位置で良いですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置の前後4秒ずつを一時停止をはさんでくり返し再生します。

6

音楽を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回して分ける位置を微調整する

その曲内で数値－180～＋180（±約2秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

ご注意
MULTI JOGダイヤルはゆっくり回してください。

7

MULTI JOGダイヤルを押す

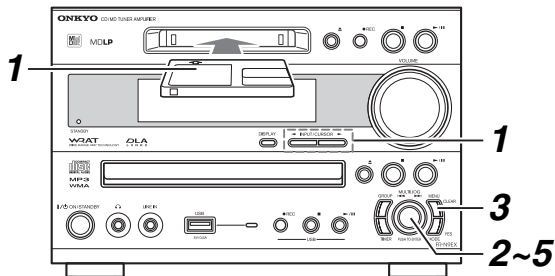
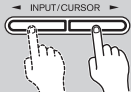
「Complete」（完了）と表示された後、曲の分かれたところで一時停止状態となります。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

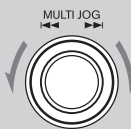
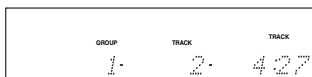
リモコンの数字ボタン、メニュー/消去ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

曲をつなぐ − Tr Combine

（トラック コンバイン）

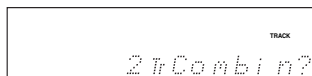
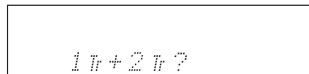
- 前後の曲どちらにも曲名がついている場合、前の曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MD■（ストップ）ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

選んだ曲が1つ前の曲とつながります。そのため、1曲目を選ぶことはできません。

3

MENU/CLEAR（メニュー クリア）ボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Tr Combin?」（トラック コンバイン）を表示させる

4

MULTI JOGダイヤルを押す

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（コンプリート）（完了）と表示された後、曲がつながります。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

ご注意

- 異なるグループに入っている曲どうしをつなぐことはできません。たとえば、1グループの最後の曲と2グループの最初の曲をつなぐことはできません。
- 異なる録音モードで録音した曲をつなぐことはできません。また、デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐこともできません。
- 下表のように、1曲の時間が短いと曲をつなげないことがあります。

録音モード	曲の長さ
SP モード	12 秒以下
LP2/Mono モード	24 秒以下
LP4 モード	48 秒以下

MD、登録した放送局に名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMの登録した放送局には放送局名などを、アルファベットやカタカナでつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

FMまたはAMのチャンネルを選び、右項または76ページで「文字を入力する」を行います。8文字までの名前がつけられます。

MDにディスク名をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ 曲を選択しているときや再生中などのときは、MD■（ストップ）ボタンを押す
❸ 右項または76ページで「文字を入力する」を行う

MDに曲名をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ 右項または76ページで「文字を入力する」を行う

MDにグループ名をつける（グループがあるとき）

❶ MDをセットし、入力をMDにします。
❷ GROUP（グループ）ボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して名前をつけたいグループを選ぶ
❸ 右項または76ページで「文字を入力する」を行う

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。(☞88ページ)
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。録音中は次の曲に移ってしまうと、入力したところまでを記録します。再生中は、名前入力が終わるまでその曲をくり返し再生します。グループ名は録音中にはつけられません。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は、表示をMD情報に切り換えてから文字を入力してください。

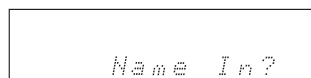
- MEM（メモリー）、RDM（ランダム）、1GR（グループ）の表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。通常の再生モード（表示を消灯）にしてください。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC（トック）表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。

本体操作ボタンで文字を入力する

1

MENU（メニュー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して「Name（ネーム） In?（イン?）」を表示させる

- 停止中では、ディスク名が入力されます。
- GROUP（グループ）ボタンを押しての停止中は、グループ名が入力されます。
- 再生中や一時停止中は、トラック名が入力されます。

2

MULTI JOGダイヤルを押す

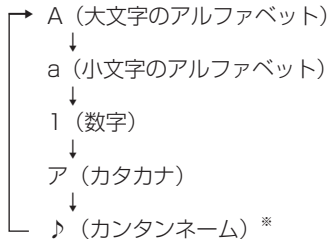
文字入力モードに入ります。

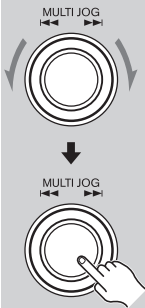
3

DISPLAYボタンを押して入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。

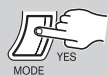
文字の種類の表示

A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）
↓
♪（カンタンネーム）※

※放送局に名前をつけるときには、表示されません。

4

MULTI JOGダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して決定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順**3**を行います。

文字を訂正/消去する場合は、77ページをご覧ください。

5

入力が終わったら、MODE/YESボタンを押す

「Complete」と表示された後、文字入力が完了します。名前の入力を途中でやめるときはMENU/CLEARボタンを2秒以上押します。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ’ ” , . ␣(空白)
(挿入)
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト
ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ
ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

表示されるカンタンネーム
（放送局に名前をつけるときは表示されません。）
MULTI JOG ダイヤルを回して選んでください。

BALLAD（バラード）	POPS（ポップス）	African（アフリカン）	Anthology（アンソロジー）	Omnibus（オムニバス）
BLUES（ブルース）	REGGAE（レゲエ）	American（アメリカン）	Best of ␣（ベスト オブ）	Selection（セレクション）
CLASSIC（クラシック）	ROCK（ロック）	Asian（エイジアン）	Collection（コレクション）	Special（スペシャル）
DANCE（ダンス）	SOUL（ソウル）	British（ブリティシュ）	Favorite（フェイバリット）	Super（スーパー）
FUSION（フュージョン）	TECHNO（テクノ）	Euro（ユーロ）	Happy（ハッピー）	␣（空白）
JAZZ（ジャズ）	VOCAL（ボーカル）	German（ジャーマン）	Heavy（ヘビー）	
LIVE（ライブ）		Japanese（ジャパニーズ）	Hit Songs（ヒット ソングズ）	

MDにつけた名前をコピーする

他のディスクや曲につけた名前をコピーして同じ名前をつけることができます。
コピーできるのは、ディスク名、曲名、グループ名で、それぞれ最後につけた名前が選んだ対象にコピーされます。
ここでは、グループ名をコピーする操作を説明します。

❶ **グループに名前をつける（前ページ参照）**

❷ **同じ名前をつけたいグループを選ぶ**
グループからはグループへのみ、トラックからはトラックへのみ、ディスクからはディスクへのみコピーできます。

❸ **MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Copy?」を表示させる**

❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示された後、その名前がコピーされます。

MD、登録した放送局に名前をつける

リモコンで文字を入力する

1

（MDの場合）

29ページを参照して名前をつけたい項目を表示させておきます。
リモコンでは⏮/⏭ボタンで曲を選べます。

文字入力ボタンを押す

1

（放送局の場合）

文字入力ボタンを押す

2

表示切換ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。スクロールボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンの決定ボタンを押してください。

数字を入力するには

数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。

たとえば、①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンの決定ボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（放送局に名前をつけるときは、表示されません。）

数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、③ボタンは押すごとにDANCE（ダンス）→Euro（ユーロ）→Favorite（フェイバリット）→FUSION（フュージョン）などと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコンの決定ボタンを押してください。

記号を入力するには

>10ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10ボタンは、␣./＊-,!?&'() が、10/0ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンの決定ボタンを押してください。
リモコンの⏮または⏭ボタンを押して文字を選び、リモコンの決定ボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

- リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「⁞⁞」や、その他記号の入力は、リモコンの ⏮ または ⏭ ボタンを押して選んでください。
- 濁点（゛）や半濁点（゜）は 1 文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。

3

文字入力ボタンを押して入力を終了する

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（74ページ）の手順 **1** と**2** を行ってください。

❶ **本体のCURSOR◀/▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、「文字を入力する」（75ページ）の手順 3、4 にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、MENU/CLEARボタンまたはリモコンのメニュー /消去ボタンを押す**

ご注意

- 続けて文字を挿入する場合は75ページ手順**3**、**4** を、終わるときは手順 **5** を行います。
- MENU/CLEARボタンを2秒以上押し続けると、それまでの文字編集を取り消して元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンの文字入力ボタン、◀◀/ ▶▶ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（74ページ）の手順 **1** と **2** を行ってください。

❶ **本体のCURSOR◀/▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷ **MULTI JOGダイヤルを左に回して「 」を表示させ、ダイヤルを押す**

❸ **「文字を入力する」の手順 3、4 にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は75ページ手順 **3**、**4** を、終るときは手順 **5** を行います。

！ヒント

リモコンの文字入力ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、◀◀/ ▶▶ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

放送局につけた名前を消去する

❶ **入力をFMまたはAMにする**

❷ **MULTI JOGダイヤルを回して名前を消去したい放送局を選ぶ**

❸ **MENU/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させる**

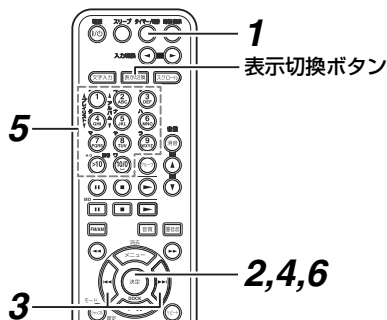
❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示された後、名前が消去されます。

！ヒント

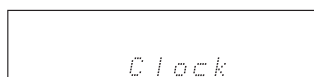
リモコンのFM/AMボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、メニュー /消去ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示で説明しています。）

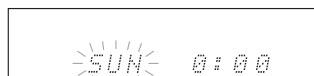
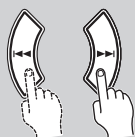
1

タイマー/時計ボタンを（くり返し）押して、「Clock（クロック）」を表示させる

すでに時計が働いているときは、タイマー/時計ボタンを押すと、「Timer 1」と表示されるので、タイマー/時計ボタンをくり返し押して「Clock」を表示させます。

Clock

2

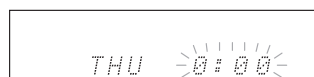
決定ボタンを押す

曜日入力に入ります。

3

I◀◀/▶▶Iボタンを押して今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

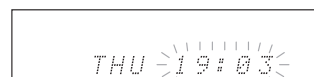
決定ボタンを押して曜日を決定する

THU 0:00

時間入力に入ります。

5

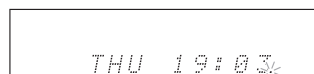
数字ボタンを押して時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）を続けて入力してください。

THU 19:03

- 表示切換ボタンで、24時間表示と12時間表示を切り換えることができます。
- 12時間（am/pm）表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。
- 24時間表示のときは、>10ボタンを押すと12時間前または12時間後の設定になります。
- I◀◀/▶▶Iボタンで時刻を合わせることもできます。

6

時報に合わせて決定ボタンを押す

THU 19:03

時計が動作を開始し、秒を示すドットが点滅します。

！ヒント

本体のTIMER（タイマー）ボタン、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルでも設定することができます。

時計合わせを中断するときは

メニュー/消去ボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンの時計表示ボタンを押します。
再度時計表示ボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時計表示ボタンを押して時刻を表示させている間に、表示切換ボタンを押します。

STANDBY（スタンバイ）時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ボタンを2秒以上押します。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマー Play（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマー Rec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマー Recは本機のMD、USBプレーヤーまたは本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

再生機器の設定

FM、AM、CD、MD、USBまたは本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、RI端子のあるオンキヨー製機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。☞85ページ）
タイマー Rec（録音）はFM、AM、またはVIDEO、TAPE、LINE、DOCK/digに接続したタイマー機能のある外部機器から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマー Play（再生）—Every—Everyday（毎日）—7:00〜7:30

Timer 2　毎週月曜から土曜のラジオ放送を録音
タイマー Rec(録音) — Every — Days Set—MON（月曜日）〜SAT（土曜日）—15:10〜15:30

Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）—Once—SUN（日曜日）—10:00〜12:00

ご注意

- タイマーによって電源が入っているとき、TIMERボタンを押すとそのタイマーが解除され、終了時刻になっても電源はスタンバイ状態にはなりません。
- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマー予約をするときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯し、そのタイマー番号が点灯します。
□が点灯している番号には、タイマー Recが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

Timer 1　9：00 – 10：00
Timer 2　8：00 – 10：00
↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)

Timer 3　12：00 – 13：00
↑ 優先（タイマー番号が小さい方）
Timer 4　12：00 – 12：30

Sleepタイマーについて

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

タイマー機能を使う

Sleep（スリープ）タイマーを使う

■リモコンで操作する

スリープボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

1分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に⏮/⏭ボタンを押します。
1〜99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

スリープボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びスリープボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off（スリープ オフ）」の表示が出るまでスリープボタンをくり返し押します。

！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。この機能を利用すると、寝る前や外出前にCDダビングを始めても、CDダビング完了後に電源を切ることができます。

■本体で操作する

1 **TIMER（タイマー）ボタンを1秒以上押す**

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

2 **TIMERボタンを押す**

押すごとに、10分ずつ時間が短くなります。
90→80→⋯→10→off

3 **1分単位で時間を設定したいときは、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回す**

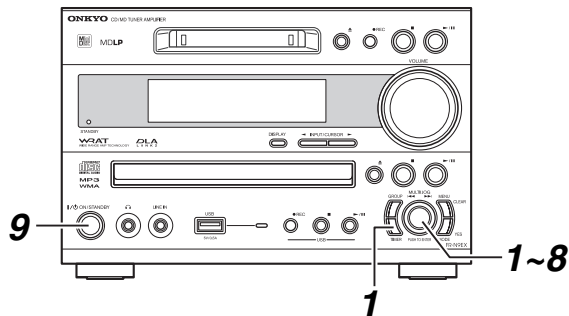
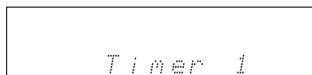
SLEEP　Sleep 54

右に回すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。左に回すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞41、42ページ)

ご注意
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中60秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。
- USBのタイマー再生を行う場合やUSBにタイマー録音する場合は、USBメモリーを差したまま、電源をスタンバイ状態にしてください。

1

＜タイマー番号の選択＞

Timer 1

TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。(☞78ページ)

2

＜タイマー種類の選択＞

または

MULTI JOGダイヤルを回してタイマー Play（再生）またはタイマー Rec（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。
タイマー Recは本機のMDやUSBメモリー、または本機に接続しているテープデッキに録音されます。
お買い上げ時の設定では、録音中はMUTING機能が働きます。

- タイマー録音時の音量設定については、83ページをご覧ください。

3

＜再生機器の選択＞

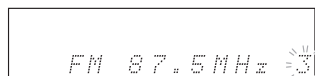
MULTI JOGダイヤルを回して再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。
タイマー Rec（録音）のときは、FM、AM、VIDEO、TAPE、LINE、DOCK/digの中から選べます。

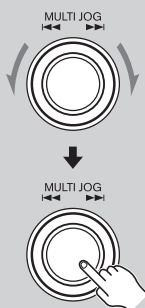
FMまたはAMを選んだ場合

MULTI JOGダイヤルを回して再生するプリセットチャンネルを選ぶ

希望のプリセットチャンネルが表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

FM 87.5MHz 3

ご注意

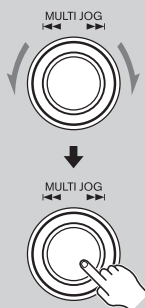
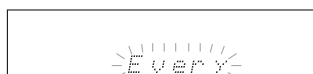
タイマー Recのとき、再生機器にTAPE、DOCK/digを選んでもテープデッキやiPodは再生状態になりません。このときは、入力がそのソースになり録音側が録音状態になるだけです。外部にCSチューナーなどをつなぎ、再生機器側のタイマーと併用することにより、本機でCSチューナーなどをタイマー録音することができます。

4

＜録音機器の選択＞（タイマー Rec設定時のみ）

MULTI JOGダイヤルを回して録音する機器を選ぶ

MD、USBまたはTAPEから選ぶことができます。
- TAPEの入力名称を他のものに変更しているときは、TAPEを選ぶことはできません。

録音する機器が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

5

＜曜日の設定＞

MULTI JOGダイヤルを回して「Once」または「Every」を選ぶ

「Once」を選ぶと一度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。

選んだらMUL TI JOGダイヤルを押します。

「Once」の場合：設定した曜日に一度だけ働きます。

SUN

MULTI JOGダイヤルを回して曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

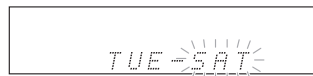
MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ SAT（土）
SUN（日） ⟺ SAT（土）

「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

MULTI JOGダイヤルを回して曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON ⇕ FRI
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday（毎日） ⇔ SAT（土）

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

① MULTI JOGダイヤルを回して最初の曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

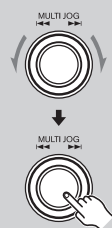
② MULTI JOGダイヤルを回して最後の曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

この場合、毎週火曜から土曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

＜開始時刻の設定＞

On 7:29

MULTI JOGダイヤルを回してタイマー開始時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

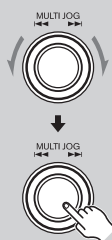
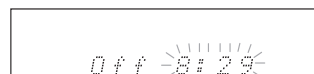
- am/pm表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。

！ヒント

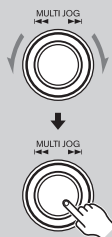
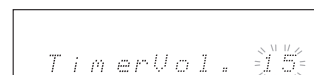
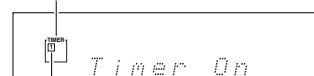
- 開始時刻（On）を変更すると、終了時刻（Off）は自動的にその1時間後になります。
- 本機のMDやUSBメモリーに録音するとき、タイマーオン後数秒間録音が開始されない場合がありますので、タイマー録音の開始時刻を1分ほど早めに設定されることをおすすめします。

7

＜終了時刻の設定＞

Off 8:29

MULTI JOGダイヤルを回してタイマー終了時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

8

＜音量の設定＞

タイマー設定表示

設定されているタイマー番号

MULTI JOGダイヤルを回してタイマーによる再生時の音量を設定する

設定する音量を表示させたら、MULTI JOGダイヤルを押します。
音量は、Mut（タイマーRecのみ）、Lst、1、2、3、…、41、Maxと設定できます。
お買い上げ時の設定は、タイマーPlayは15、タイマーRecはMutです。Lst、Mutの動作は次の通りです。

Lst：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にしたときの音量）になります。
Mut：MUTING機能が働いて音が消えます。MUTINGを解除すれば最後に聞いた音量になります。

9

＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

ON/STANDBYボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

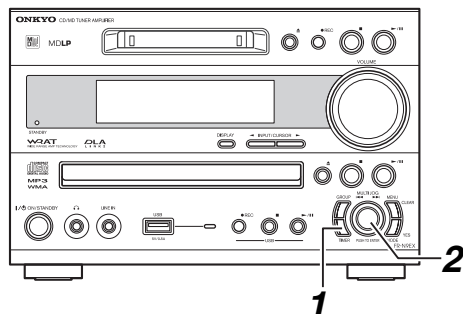
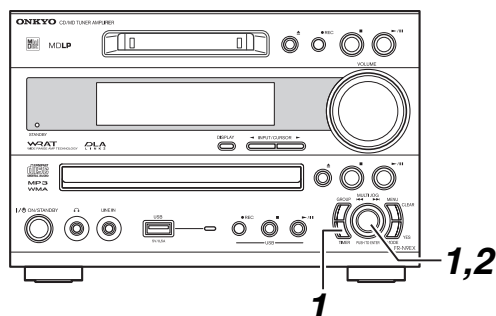
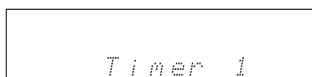
- 電源がオン状態のときは、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと、動作中のタイマーは解除されます。

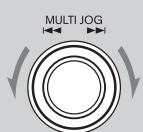
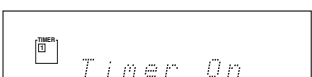
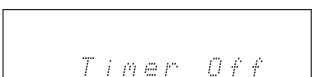
！ヒント

リモコンのタイマー/時計ボタン、⏮/⏭ボタン、決定ボタンでも操作することができます。

タイマー予約をやり直したいときは…TIMERボタンを押し、最初から設定してください。

タイマーのOn(実行)/Off(取消)を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したり、再び実行させたりできます。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマーを実行させることはできません。

1 TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマー番号を表示させる

TIMER

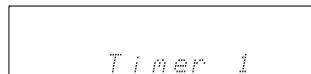
タイマー番号が点灯していたら､オン（実行）状態です。

2 MULTI JOGダイヤルを回してOn(実行)/Off(取消)を切り換える

または

切り換えると約2秒後に元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのタイマー/時計ボタン、⏮/⏭ボタンでも操作することができます。

タイマー設定の内容を確認するには

1 TIMERボタンを(くり返し)押して確認したいタイマーの番号を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押す

Timer 1

2 MULTI JOGダイヤルを(くり返し)押して内容を確認する

押すたびに現在設定されている内容を順に確認できます。

！ヒント

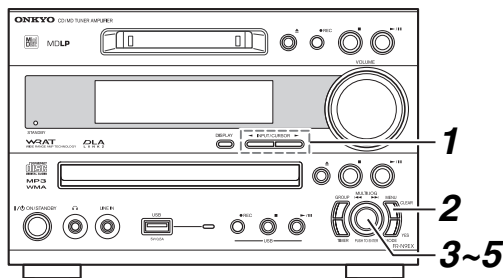
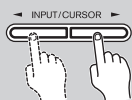
確認中、MULTI JOGダイヤルを回して設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更して最後まで確認すると自動的にタイマー設定がOnになります。
すべての項目を確認してしばらくすると、元の表示に戻ります。
確認を途中でやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

！ヒント

リモコンのタイマー/時計ボタン、決定ボタン、⏮/⏭ボタン、メニュー/消去ボタンでも操作することができます。

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して名称を変える外部入力を選ぶ

VIDEO、TAPE、DOCK/digから選べます。

2

MENU/CLEARボタンを押して「Name Select?」を表示させる

Name Select?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

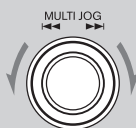
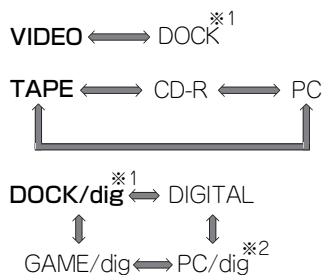
4

MULTI JOGダイヤルを回して名称を選ぶ

VIDEO ⟺ DOCK※1

TAPE ⟺ CD-R ⟺ PC

DOCK/dig※1 ⟺ DIGITAL

GAME/dig ⟺ PC/dig※2

選ばれている入力表示名称が点滅します。

変更をやめるときは、MENU/CLEARボタンを押します。

※1 DOCK/digとDOCKを同時に設定することはできません。同時に設定しようとすると、他方がDOCK/digならDIGITALに、DOCKならVIDEOに自動的に切り換わります。
ND-S1のとき（☞22ページ）はDOCK/digに、RIドックのとき（☞23ページ）はDOCKに設定します。

※2 UE-205以外のUSBオーディオプロセッサーなどを接続したときに選択します。

ご注意

ND-S1を接続してND-S1の入力を切り換えたときは、DOCK/digの名称が自動的にiPod/digまたはPC/digに切り換わります。

5

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

「Complete」（完了）と表示された後、設定が終了します。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
CD-R	CR
DIGITAL、＊＊/dig	DG
DOCK	DC
LINE	LI
PC	PC
TAPE	TA
VIDEO	VI

製品の取り扱いについて

D-N9EXスピーカーキャビネットについて

D-N9EXのキャビネットは自然の木材を表面化粧板として使用したリアルウッド突板仕上げです。リアルウッド突板仕上げの製品は、工業製品とは異なり、一つとして同じ木目模様のものはありません。これは、原材料の木の年輪が表面にあらわれているためで、不規則な模様の変化や、濃淡の変化といった個性を持っています。
オンキヨーの製品は、自然が与えてくれる要素をできる限り生かしたいと考えています。このような個性も音楽を再現する道具の一部として味わってください。

D-N9EXを設置する際のご注意

D-N9EXを設置する場合には付属のコルクスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤(かそざい)*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。D-N9EXの表面を被っている塗装皮膜は､可塑剤を含む製品に長時間接触していると､色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑剤がD-N9EXの塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。
滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。D-N9EXに接触することで色が移ったり、D-N9EXの色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

*可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。
- 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
- 滑り止めシート
- 建材（壁紙、床材、天井材など）
- 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
- フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
- 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

付属のスピーカーのツイーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

CD（音楽CD、MP3、WMA）について

再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※
※
※本機はCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3、WMAディスクの再生について

本機はCD-R/CD-RWに記録したMP3、WMAファイルを再生することができます。

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。）
  また、HFS（hierarchical file system）ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- フォルダ（Rootを含む）とファイルの合計が499まで認識・再生することができます。
- ディスクはクローズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

MP3ディスクの再生について

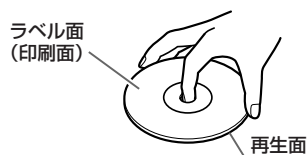
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー 3（32-320kbps）のサンプリング周波数32/44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 32kbpsから320kbpsの可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMAディスクの再生について

- WMAは「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 64kbpsから160kbps（32/44.1/48kHz）の可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。
- WMA Pro、LosslessおよびVoiceには対応していません。

＊Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

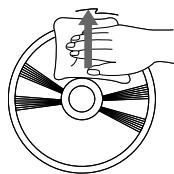
レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWの注意について

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。
必要なとき以外はディスクを入れたままにしないで、ケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

MDについて

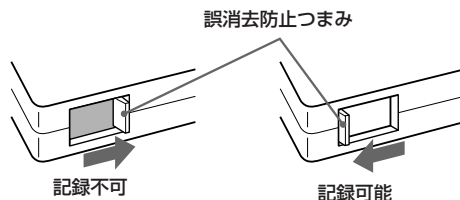
シリアルコピーマネージメントシステム
デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、一度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、一度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録可能状態にしておいてください。

MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古い蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

長時間使用しないときは

MDが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel.　03-3261-3444（代表）

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
  MDは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの「入」「切」が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

- **MDへの録音状況によっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**

- **録音方法により曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**

- **編集でできた曲で早戻し、早送りを行うと、音が途切れることがある。**

- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンク「オン」で自動的に曲の区切りをつけた場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。FM/AMを録音するときは、無音状態がほとんどないため曲番はつきません。

- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」が長く表示されます。

- **MDには約1,700文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。

- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

MDLPについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もあります。他の機器の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. 本機をスタンバイ状態にしてから、電源コードを抜く
2. 本体のON(オン)/STANDBY(スタンバイ)ボタンを押しながら、電源コードを差し込む

   表示部に「RESET(リセット)」と表示されたあと、スタンバイ状態になります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(80ページ)**
- タイマー再生、録音 **(81ページ)** は終了時刻になるとスタンバイになります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。スピーカーコードのしん線部の⊕、⊖が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？
- スピーカーコードのしん線は本体の接続端子に確実に接続されていますか？ **(18ページ)**
- ボリュームのレベルが小さすぎませんか?
- INPUTは正しく選択されていますか？
- MUTING(ミューティング)インジケーターが点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンの消音ボタンを押して解除してください。**(45ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(25ページ)**
- お買い上げ時の設定では、タイマー録音中はミューティング機能が働いています。タイマー録音時の音量設定については、83ページをご覧ください。

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**(18ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCDやMDのディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

LINE IN端子に接続した機器の音声が出ない、MDに録音できない

- 🎧(フォーンズ)端子に間違って接続していませんか？

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない場所に設置してご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。
- となりのLINE IN端子に誤って接続していませんか？

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。
- 電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD/MD に関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音飛びすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- CDの場合はディスクの置く位置、MDの場合はディスクの方向を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は、電源を入れて約1時間放置した後に操作してください。**(86ページ)**

ディスクの曲順通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**(35ページ)**

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

困ったときは

FM/AM 放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、「サー」というノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**(20ページ)**
- アンテナの位置や方向を変えてみてください。**(40ページ)**
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。**(43ページ)**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。**(40ページ)**

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは6日間保持されます。万一、登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定し直してください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（⊕、⊖）が、表示通り正しく入っているか確認してください。**(9ページ)**
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、正常に動作しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると、本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する必要があります。接続が正しいか確認してください。**(22ページ)**

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。**(23ページ)**
なお、ND-S1はRIケーブルのみの接続でシステム動作します。**(22ページ)**
- 外部入力機器の表示名称を正しく設定してください。**(85ページ)**

「D.In Unlock」が表示された/DIGITAL表示が点滅している

- オーディオ用光デジタルケーブルの接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。
- ND-S1にiPodがセットされていない。

接続した機器の音が出ない

- オーディオ用光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
- 本機はPCM信号にしか対応していません。接続した機器のデジタル音声出力をPCMに設定してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か確認してください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は、別途フォノイコライザーが必要です。
- レコードプレーヤーにMCカートリッジをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが別途必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。**(78ページ)**
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時刻前は必ず電源をスタンバイ状態にしてください。**(83ページ)**
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。**(79ページ)**
- タイマーの再生音量は適切に設定しておいてください。**(83ページ 手順*8*)**
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコード（ND-S1は除く）の両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。**(22、23、85ページ)**
- タイマー録音するには録音可能なMDまたはUSBメモリーをセットしておく必要があります。また、本機のMDまたはUSBメモリーにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を1分ほど早めに設定してください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。**(78ページ)**

MDの録音/編集に関して

MDの録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報はMDを取り出すときやスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Copy」と表示される
- シリアルコピーマネジメントシステムの制限によりデジタル録音はできません。**(60、88ページ)**
- DVDやiPodの音源をデジタル信号のまま録音することはできません。

「Cannot Rec」と表示される
- 再生用のMDです。録音用と交換してください。

「Protected」と表示される
- MDが記録不可状態になっています。誤消去防止つまみを閉じて記録可能状態にしてください。

「Disc Full」と表示される
- MDに空きがありません。新しいMDと交換してください。

困ったときは

「Retry Error」と表示される

- いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、オンキヨー修理窓口にご連絡ください。
- ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音ができない場合があります。

デジタル機器から外部録音しようとしたら「D.In Unlock」と表示される

- オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。

録音レベルが小さい/音が歪む

- 録音レベルを調整してください。**(60ページ)**

「CDダビング」ができない(デジタル録音されたCD-Rは、CDダビングなどのデジタル録音はできません。)

- 「Peak Search(ピーク サーチ)」と点滅している場合は、音量を自動補正するDLAリンク機能が働いています。点滅後、ダビングを開始しますのでお待ちください。
  (DLAリンク設定☞59ページ)

「CD Dub Fail」と表示される

- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。

「CD高速ダビング」ができない

- CDがメモリー、ランダム再生モードになっているとCD高速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
  また、高速ダビング開始後、同じCDを74分以内に高速ダビングすることはできません。**(49ページ)**

「CD高速ダビング」で音飛びがする

- CD高速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
  音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない

- 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

録音すると必ずグループができる

- グループ録音の設定が「オン」になっています。「グループ録音」の設定を「オフ」にしてください。
  (58ページ)

録音した曲の始めの数秒が切れる

- 入力を「MD」にしたとき、「Reading(リーディング)」と表示されている場合は、MDの読み込みを行っています。MDの読み込みが完了してから、録音を開始してください。

録音時、瞬間的にノイズが発生する

- LP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間が、すでに録音した時間と残録音時間の合計と一致しない

- ディスクの録音箇所には一定の範囲(時間)単位での録音がされるために、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

録音したディスクを再生すると音が小さい/大きい

- 録音レベルを調整してください。**(60ページ)**

名前がつけられない

- 録音用のMDを使用してください。MDの誤消去防止つまみが開いて録音不可状態になっている場合は、誤消去防止つまみを閉じてください。**(88ページ)**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。**(35ページ)**

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる

- グループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1Trと表示されます。

グループ録音設定を「オン」にしているのにグループにならない

- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MD■(ストップ)ボタンを押すと、そこでグループが終わります。

多くの曲番に分かれて録音されてしまう

- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲番が多くつく場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合は、レベルシンク機能を「オフ」にしてください。

曲番がつかない

- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない

- LP2やLP4(MDLPモード)を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。

MDの編集ができない

- MDは録音用を使用し、記録不可状態なら誤消去防止つまみを閉じてください。**(88ページ)**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。
  (35ページ)
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombineする(つなぐ)ことはできません。**(73ページ)**
- 異なる録音モードで録音した曲はCombineする(つなぐ)ことはできません。(LP2とLP4など)
  (73ページ)

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、TOCに書き込まれる前の記録内容は消去されます。また、誤って電源コードを抜いた場合も同様に消去されます。

USBメモリーの再生に関して

- iPod、Walkman、携帯電話を本機のUSB端子に接続しても再生できません。
- ファイル名/フォルダ名に表示できない文字が含まれている場合は、File_XXXXX/Folder_XXXと表示されます。タイトル名/アーティスト名/アルバム名に表示できない文字があるときは、「・」に置き換えて表示されます。
- USBハブを使うと再生できません。
- 著作権保護されたWMAは再生できません。
- FAT16の64kクラスタサイズには対応していません。
  録音前にFAT32でフォーマットしてご使用ください。

USBメモリーの録音に関して

- USBメモリーによっては正常にタイマー録音、トラック指定ダビングなどができない場合があります。事前にUSBメモリーに正常にタイマー録音などができることを確認の上、ご使用ください。
- 録音時のビットレートは、96kbps、128kbps、192kbpsから選べます。**(57ページ)**
- MP3、WMAが記録されたCDを録音する場合、高速で録音(コピー)します。
- CD(音楽CD)/MDからUSBメモリーに録音する場合は、等速で録音します。(5分の曲を録音する場合は、5分かかります。)

- 以下の機能はMD録音のみに働きます。USBメモリー録音時には働きません。
  「シグナルシンクロ録音」、「フェードアウトダビング」、「DLAリンク」、「レベルシンク」
- USBメモリーにはいろいろな種類、仕様があり、すべてのUSBメモリーで動作を完全に保証することはできません。
  特に、小ブロック単位の書込速度の遅いUSBメモリーは使用しないでください。
- セキュリティ機能付きのUSBメモリーは使用できません。
  セキュリティ機能をはずし、通常のUSBメモリーとして動作できる場合は使用できます。
- USB●REC（レック）ボタンを押して、「Disconnected（ディスコネクティッド）」が点滅する場合は、USB■（ストップ）ボタンを押してUSBメモリーが取り外せる状態（切断状態）になっています。この場合は、一度USBメモリーを抜いてあらためて差し直してください。

その他

ディスクが熱くなる

- 気温や動作状態にもよりますが、本機から取り出したディスクが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

停電になった

- 時計が止まって「－－：－－」になり、すべてのタイマー設定が「オフ」になります。あらためて時計を設定し直し、必要なタイマーを「オン」に設定してください。

電源コードをコンセントに差し込んだとき「RESET」と表示される

- 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリーの内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってからあらためて電源プラグを差してください。
それでも正常な動作に復帰しないときは、90ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行ってください。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている。(「シリアルコピーマネージメントシステムについて」、88ページ参照)
Cannot Edit	MDが編集できない状態にある。 編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Read*	異常な(損傷している、TOCが入っていない)ため、MDが読み込めない。 ディスクを交換してください。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。 デジタルで録音したCD-Rをデジタル録音しようとした。
Cannot Write	TOC更新時、ディスクの傷等のため、正しく書き込むことができなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。(CD、MD)
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	設定/編集が完了した。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない。(「MDのシステム上の制約について」、89ページ参照)
Er-CD***	CDの動作に異常がある。(電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。)
Er-MD***	MDの動作に異常がある。(電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。)
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Group Disc	グループ録音したMDをグループモードに設定せずに編集しようとした。
Group Full	グループ数が99を超えている。
Impossible	編集不可能な操作をした。
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
MD Writing	MDへの書き込み中。
Memory Full	25曲を超えてメモリーしようとした。 または、チューナーで30局を超えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名、グループ名、ディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Track	再生、編集する曲がない。(曲のあるグループまたはグループに入っていない曲を選んでください。)
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウェイト中。
Time Protect	CD高速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD高速ダビングしようとした。
TOC Form***	記録されているTOC情報に異常があり読めない。(全曲削除して録音をやり直してください。)
USB Full	録音中、1フォルダ内のファイル数が256をオーバーした。 録音中、USBメモリーのメモリー容量がいっぱいになった。
USB No Files	MP3、WMAのファイルが存在しない。
USB No Media	USBメモリーが装着されていない。 接続されたUSBデバイスが認識できない。(一度USBデバイスを抜いて、差し直してみてください。)
Unplug OK	USBメモリーを抜くことが可能な状態。
Disconnected	USB■(ストップ)ボタンを押して、USBメモリーが取り外せる状態です。一度USBメモリーを外して差し直し、それから操作してください。
Not Support	再生したファイルがWMA DRMであった場合。 対応できないファイルを再生しようとした場合。

※*や***には、数字や記号が入ります。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部

■総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　60W
待機時電力　0.2W
最大外形寸法(FR-N9EX)　215(幅)×142(高さ)×359(奥行)mm
最大外形寸法(FR-N7EX)　215(幅)×142(高さ)×349(奥行)mm
質量　5.2kg(FR-N9EX)、5.1kg(FR-N7EX)
音声入力　デジタル　1（光）
　アナログ　LINE、TAPE、VIDEO
音声出力　デジタル　1（光）(FR-N9EXのみ)
　アナログ　TAPE
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　2
　ヘッドホン　1

■アンプ部

定格出力　14W＋14W（8Ω、40Hz～20kHz、全高調波歪率0.4%以下、2ch駆動時）
　19W＋19W（4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下、2ch駆動時）
実用最大出力　26W＋26W（4Ω JEITA）
全高調波歪率　0.4 %（1kHz 定格出力時）
　0.4 %（40Hz～20kHz 定格出力時）

ダンピングファクター　25（8Ω）
入力感度/インピーダンス　150mV/50kΩ(TAPE、VIDEO)
　150mV/24kΩ（LINE）
出力電圧/インピーダンス　150mV/2.2kΩ（TAPE）
周波数特性　10Hz～100kHz/±3dB（TAPE）
トーンコントロール最大変化量
　±8dB、80Hz（BASS）
　±10dB、10kHz（TREBLE）
　＋3dB、80Hz（S.BASS 1）
　＋7dB、80Hz（S.BASS 2）
SN比　100dB（LINE,IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4Ω～16Ω

■チューナー部

受信範囲〈FM〉76.0MHz～90.0MHz
　〈AM〉522kHz～1629kHz
プリセット数　FM/AM合計30局

■CD部

周波数特性　10Hz～20kHz
ダイナミックレンジ　95dB
全高調波歪率　0.007%
ワウ・フラッター　測定限界以下（±0.001% W.PEAK）
音声出力電圧/インピーダンス
　−22.5dBm（光デジタル出力）
　1.3V(rms)/2.2kΩ(アナログ出力)

■MD部

録音可能サンプリング周波数　32, 44.1, 48kHz
再生サンプリング周波数　44.1kHz
録音・再生時間　最長5時間20分 (LP4)
周波数特性（デジタル音声）10Hz～ 20kHz
ダイナミックレンジ　92dB
出力電圧/インピーダンス
　1.3V(rms)/2.2kΩ(アナログ出力)

■USB部

インターフェイス　USB2.0 Full Speed
ファイルシステム　FAT16、FAT32
再生フォーマット　MP3、WMA
録音フォーマット　MP3

スピーカー部

■D-N9EX

形式　2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　83dB/W/m
定格周波数範囲　45Hz～100kHz
クロスオーバー周波数　6kHz
キャビネット内容積　8.1リットル
最大外形寸法　167(幅)×299(高さ)×260(奥行)mm（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　4.1kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm A-OMF MONOCOQUE型
　ツィーター　3cm リング型
ターミナル　バナナプラグ対応ネジ式スピーカーターミナル
防磁設計　有（JEITA）
付属品　コルクスペーサー 8個、スピーカーコード1.8m×2
その他　サランネット脱着可、左右同一型、2台1梱包

■D-N7EX

形式　2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　83dB/W/m
定格周波数範囲　50Hz～100kHz
クロスオーバー周波数　6kHz
キャビネット内容積　8.4リットル
最大外形寸法　164(幅)×282(高さ)×268(奥行)mm（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　3.8kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm A-OMF MONOCOQUE型
　ツィーター　3cm リング型
ターミナル　プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計　有（JEITA）
付属品　コルクスペーサー 8個、スピーカーコード1.8m×2
その他　サランネット脱着可、左右同一型、2台1梱包

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶お名前
- ▶お電話番号
- ▶ご住所
- ▶製品名 X-N9EX / X-N7EX / FR-N9EX / FR-N7EX
- ▶できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　年　　月　　日

ご購入店名： ____________________

Tel.　　(　　)

メモ：

- -

- -

- -

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00〜18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G1005-1

SN 29400457